



PORTATONE

PSR-E253

準
備

本
編

資
料

オートパワーオフ機能

この楽器には、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、オートパワーオフ機能が搭載されています。オートパワーオフ機能とは、本体が一定時間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。詳しくは14ページをご覧ください。

取扱説明書

JA

このたびは、ヤマハ電子キーボードをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
この楽器の優れた機能を十分に活かして演奏をお楽しみいただくため、本書をお読みください。
また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

取扱説明書について

この楽器には、以下の説明書が用意されています。

■冊子マニュアル



取扱説明書(本書)

- **準備**：最初にお読みください。
- **本編**：この楽器の機能や使い方を説明しています。
- **資料**：仕様や楽器リストなどの資料を掲載しています。

付属品(お確かめください)

- 取扱説明書(本書)
- ソングブック
- 電源アダプター
- 譜面立て
- 保証書
- 製品ユーザー登録のご案内
 - * ユーザー登録の際に必要なプロダクトIDが記載されています。

もくじ

取扱説明書について	2
付属品(お確かめください)	2

準備

各部の名称	10
-------------	----

ご使用前の準備	12
---------------	----

電源の準備	12
譜面立てを使う	13
別売のヘッドフォン/外部スピーカーを使う	13
ペダルを使う (サステイン)	13
電源を入れる/切る	13
音量(マスターボリューム)を調節する	14
マスター EQを設定して最適な音にする	14

画面表示と基本操作	15
-----------------	----

画面表示	15
基本操作	15

本編

いろいろな楽器音(ボイス)で弾いてみよう	16
----------------------------	----

楽器音(ボイス)を選ぶ	16
おもしろい音を鳴らす(効果音)	16
グランドピアノの音で弾く	16
メトロノームを使う	17
より広がりのある音で演奏する (ウルトラワイドステレオ)	17
エフェクトをかける	17

スタイル(自動伴奏)を鳴らしてみよう	18
--------------------------	----

スタイルに変化を付ける(セクション)	19
再生テンポを変える	19
スタイル再生用のコードの押さえ方	20
コードをコード辞書で調べる	21

二人で一緒に弾く(デュオ)	22
---------------------	----

ソングを鳴らしてみよう	23
-------------------	----

デモソングを聞く	23
ソングを選んで聞く	23
BGMとして連続再生する	23
ソングを早送り、早戻し、一時停止する	24
内蔵ソングのメロディー音色を変更する	24
ソングの一部をくり返して聞く (A-Bリピート)	24
各パートをオン/オフする	25

コードの響きを体感しよう(コードスタディ)	26
-----------------------------	----

コードをひとつずつ体感しよう	26
コード進行を体感しよう	26

ソングを選んでレッスンしてみよう	27
------------------------	----

レッスン紹介	27
レッスンをやってみよう	27

外部機器の音をこの楽器で鳴らそう	28
------------------------	----

手弾きのフレーズを録音しよう(フレーズ録音)	29
------------------------------	----

機能設定	30
------------	----

バックアップと初期化	32
------------------	----

バックアップデータ	32
初期化	32

資料

困ったときは	33
楽器リスト	34
ドラムキットリスト	36
ソングリスト	38
スタイルリスト	39
エフェクトタイプリスト	40
仕様	41
索引	42

準

備

本

編

資

料

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。




ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源アダプターについて



警告



禁止

ヤマハ製電子楽器以外に使用しない。
電源アダプターは、ヤマハ製電子楽器専用です。他の用途には、ご使用にならないでください。故障、発熱、火災などの原因になります。



禁止

電源アダプターは、室内専用のため屋外及び水滴のかかる環境では、使用しない。また、水の入った物、花瓶などを機器の上に置かない。
内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。



注意



必ず実行

製品は電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告

電源 / 電源アダプター



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のもの(41ページ)を使用する。

異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

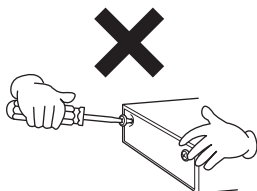
分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。



水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本体の上にもろそくなど火気のあるものを置かない。

もろそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

電池



禁止

電池を分解しない。

電池の中のものに触れたり目に入ったりすると、化学やけどや失明のおそれがあります。



禁止

電池を火の中に入れない。

破裂するおそれがあります。



禁止

使い切りタイプの電池は、充電しない。
充電すると液漏れや破裂の原因になります。



禁止

電池を金属製のネックレスやヘアピン、コイン、鍵などと一緒に持ち運んだり、保管しない。
電池がショートし、発熱、破裂、火災のおそれがあります。



禁止

指定(41ページ)以外の電池を使用しない。
火災、発熱、液漏れの原因になります。



必ず実行

複数の電池を使う場合、同じメーカーの同じ種類、同じ品番の新しい電池を使用する。
種類やメーカー、品番の異なる電池を一緒に使用したり、新しい電池と古い電池を一緒に使うと、火災、発熱、液漏れの原因になります。



必ず実行

電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れる。
正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。



必ず実行

長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体から抜いておく。
電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



必ず実行

充電式ニッケル水素電池を使用する場合は、電池の取扱説明書の指示に従う。
電池に付属の取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。また、充電電池の充電は、必ず専用の充電器をご使用ください。専用器以外を使用すると、電池が発熱、液漏れ、破裂するおそれがあります。



禁止

電池は子供の手の届くところに置かない。
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。
失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜く。)

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

⚠ 注意

電源 / 電源アダプター



禁止

たこ足配線をしない。

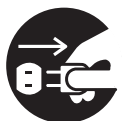
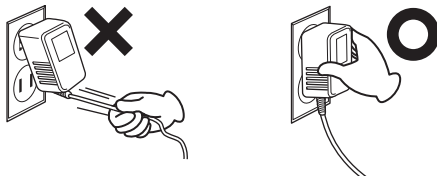
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

設置



禁止

不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様やほかの方々転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この製品を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



必ず実行

指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。

本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

接続



必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴力障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様やほかの方々がかげがをしったりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。



- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[⓪](スタンバイ/オン)スイッチを切った状態(画面表示が消えている)でも微電流が流れています。[⓪](スタンバイ/オン)スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの電池は、各自自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■製品の取り扱いに関する注意

- ・ テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。iPad、iPhone、iPod touchのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためiPad、iPhone、iPod touchの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- ・ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5℃～40℃の範囲で動作することを確認しています)。
- ・ 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。

■製品のお手入れに関する注意

- ・ 手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

■データの保存に関する注意

- ・ この楽器の一部のデータ(32ページ)は自動的に保存され、電源を切っても消えません。ただし保存されたデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。

この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- ・ ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・ この製品に内蔵または同梱されたコンテンツは、ヤマハ(株)が著作権を有する、またはヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物です。製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出し、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することについては、著作権法等に基づき、許されていません。
※上記コンテンツとは、コンピュータプログラム、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。
※上記コンテンツを使用して音楽制作や演奏を行ない、それらを録音や配布することについては、ヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- ・ 内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ iPhone、iPad、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

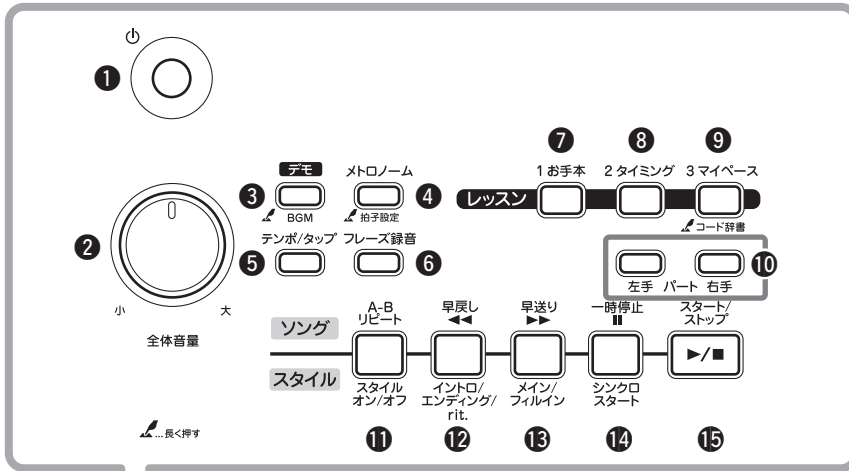
製造番号

(bottom_ja_02)

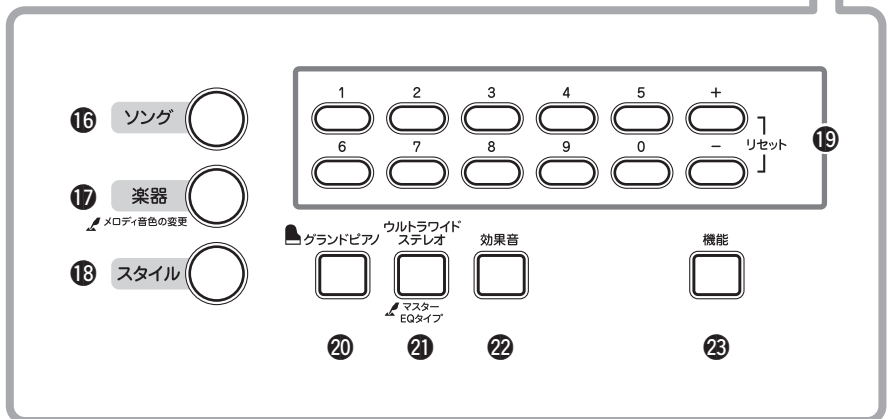
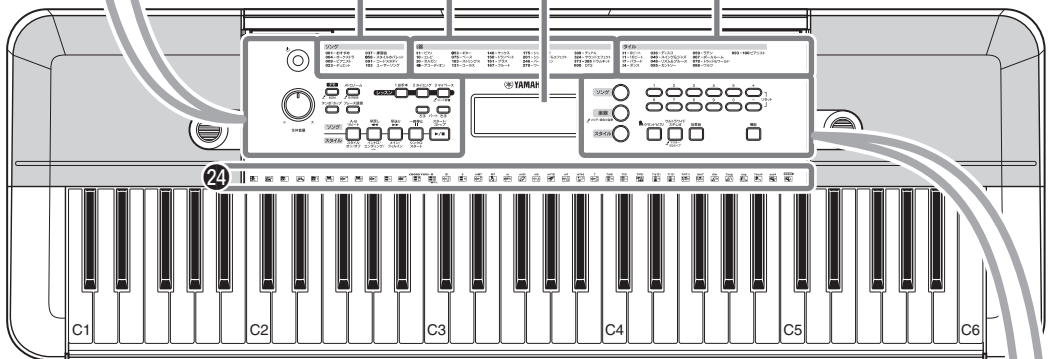
各部の名称

準備

■フロントパネル



ソングリスト (38ページ) 楽器リスト (34ページ) 画面 (15ページ) スタイルリスト (39ページ)



① [⏻] (スタンバイ/オン) スイッチ	13ページ
② [全体音量] ダイアル	14ページ
③ [デモ] ボタン	23ページ
④ [メトロノーム] ボタン	17ページ
⑤ [テンポ/タップ] ボタン	19ページ
⑥ [フレーズ録音] ボタン	29ページ
⑦ [1 お手本] ボタン	27ページ
⑧ [2 タイミング] ボタン	27ページ
⑨ [3 マイペース] ボタン	27ページ
⑩ レッスンパート	
[左手] ボタン	27ページ
[右手] ボタン	27ページ

ソングのとき

⑪ [A-B リピート] ボタン	24ページ
⑫ [早戻し] ボタン	24ページ
⑬ [早送り] ボタン	24ページ
⑭ [一時停止] ボタン	24ページ

スタイルのとき

① [スタイル オン/オフ] ボタン	18ページ
⑫ [イントロ/エンディング/rit.] ボタン	19ページ
⑬ [メイン/フィルイン] ボタン	19ページ
⑭ [シンクロスタート] ボタン	18ページ


⑮ [スタート/ストップ] ボタン	23ページ
⑯ [ソング] ボタン	23ページ
⑰ [楽器] ボタン	16ページ
⑱ [スタイル] ボタン	18ページ
⑲ 数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-]	15ページ
⑳ [グランドピアノ] ボタン	16ページ
㉑ [ウルトラワイドステレオ] ボタン	17ページ
㉒ [効果音] ボタン	16ページ
㉓ [機能] ボタン	30ページ
㉔ ドラムキット用イラスト群	16ページ

スタンダードキット1を選んだときに、各鍵盤に割り当てられる打楽器のイラストです。

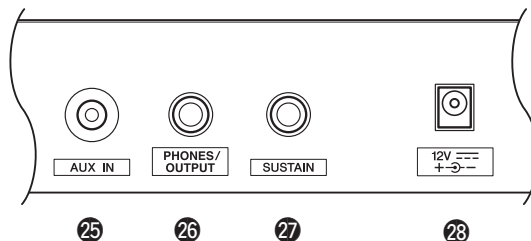
鍵盤

この楽器では、鍵盤を弾く強さに関係なく一定の音量が鳴ります。そのため、演奏が内蔵ソングのように鳴らないことがあります。

ボタンを「長く押す」マークについて

 このマークの付いたボタンを1秒以上押し続けると、そこに書かれた別機能に移ります。

リアパネル



②⑤ [AUX IN] 端子	28ページ
②⑥ [PHONES/OUTPUT] 端子	13ページ
②⑦ [SUSTAIN] 端子	13ページ
②⑧ DC IN 端子	12ページ

ご使用前の準備

電源の準備

この楽器の電源には、電源アダプターか電池を使用できますが、環境に配慮して電源アダプターのご使用をおすすめします。

電源アダプターを使うときは

- 1 本体の電源が切れている(鍵盤、五線譜と音部記号以外、画面に何も表示されていない)ことを確認してください。

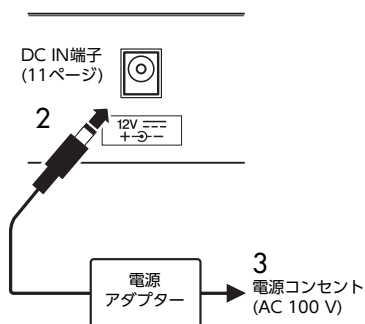
警告

• 電源アダプターは、必ず指定のもの(41ページ)をご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、十分ご注意ください。

- 2 電源アダプターのDCプラグをリアパネルのDC IN (電源アダプター接続)端子に差し込みます。
- 3 電源アダプターのACプラグを家庭用(AC100V)コンセントに差し込みます。

注意

• 本体は電源コンセントの近くに設置してください。異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



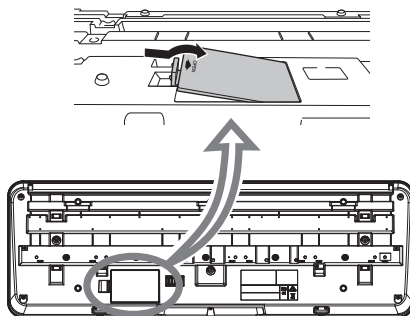
NOTE

- 電源アダプターを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行なってください。
- 電源アダプターが接続されている場合は、電池がセットされていても電源はアダプターから供給されます。

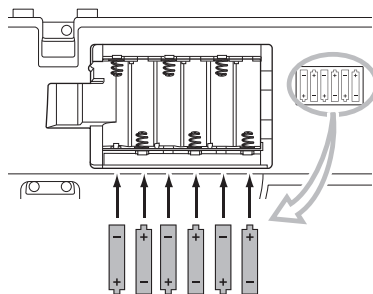
電池を使うときは

この楽器は、単3形のアルカリ乾電池、マンガン乾電池、および充電式ニッケル水素電池(充電電池)を使用できますが、使い方により大きな電力を消費する場合がありますので、アルカリ乾電池、または充電電池のご使用をおすすめします。

- 1 電源が切れていることを確認してください。
- 2 本体を柔らかい布などの上で裏返し、電池カバーを外します。



- 3 電池を6本入れます。
イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。



- 4 電池カバーを閉めます。

注記

- 電池がセットされ電源が入っているときに、電源アダプターのDCプラグを抜き差ししないでください。電源が一時的に切れて設定が初期化されます。
- お使いの電池の種類に合わせて、本体の設定を切り替えてください(41ページ)。

電池は早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したり、また正常に動かなくなることがあります。このような場合は、すべての乾電池を交換するか、充電電池を充電してください。

NOTE

- 充電電池は、必ず専用の充電器で充電してください。この楽器では、充電できません。
- 電池が本体に入っている状態でも、電源アダプターのDCプラグを本体に差し込むと、電源アダプターから電源が供給されます。

■電池の種類を選ぶ

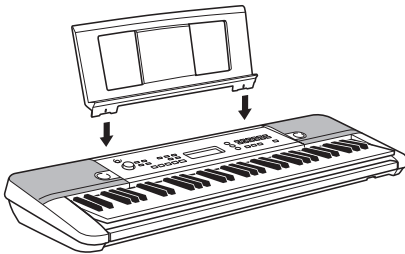
お使いの電池の種類に合わせて、本体の設定(乾電池または充電電池)を切り替えてください。初期設定は、乾電池です。設定は、電源を入れたあと、機能設定(31ページ 機能番号023)で切り替えます。電池の種類を変えるときは、必ず設定してください。

注記

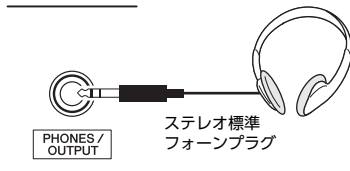
- 電池の種類の設定を間違えると、電池の劣化を早め、使用時間が短くなります。正しい設定でお使いください。

譜面立てを使う

譜面立ては本体の溝に差し込んでお使いください。



別売のヘッドホン/外部スピーカーを使う



ヘッドフォンを[PHONES/OUTPUT]端子に接続します。[PHONES/OUTPUT]端子は外部出力端子にもなります。アンプ内蔵スピーカー、コンピューター、キーボードアンプ、レコーダーなどの入力端子に接続すれば、この楽器のオーディオ音声を外部機器で鳴らすことができます。ヘッドフォンや外部機器を接続すると、自動的にこの楽器のスピーカーからは音が出なくなります。

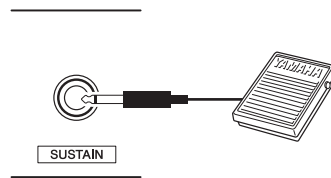
⚠ 注意

- 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。
- 外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行ってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にしてください。感電または機器の損傷のおそれがあります。

注記

- 楽器本体の音を外部機器に出力するときは、最初に楽器本体、次に外部機器の順に電源を入れてください。電源を切るときはこの逆の順番で行ってください。機器の損傷の原因になります。

ペダルを使う (サステイン)



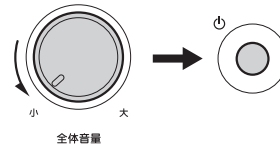
別売のフットスイッチ(FC5またはFC4A)を[SUSTAIN]端子に接続すると、ピアノのダンパーペダルと同様、フットスイッチを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても音を長く響かせることができます。

NOTE

- フットスイッチのケーブルの抜き差しは、電源を切った状態で行なってください。
- フットスイッチを踏んだまま電源を入れないでください。フットスイッチのオン/オフが逆になります。
- 自動伴奏(18ページ)にはフットスイッチは効きません。

電源を入れる/切る

1 [全体音量]ダイヤルを左に回し、音量を最小にします。



2 [⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。

音量は鍵盤を弾いて確かめながら、徐々に上げてください。電源を切るには、もう一度[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押します。

⚠ 注意

- 電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。また、電池を使用している場合は、電池を本体から抜いてください。

オートパワーオフ機能

この楽器は、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、オートパワーオフ機能を搭載しています。これは、本体が一定時間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。電源が切れるまでの時間は、初期設定では30分ですが、変更することもできます。

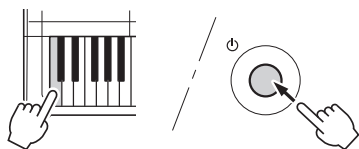
■オートパワーオフするまでの時間を変更するには
 [機能]ボタンを何度か押して、「AutoOff」(31ページ 機能番号022)を呼び出します。呼び出したら[+]、[-]ボタンを押して、電源が切れるまでの時間を変更します。

設定値： OFF, 5/10/15/30/60/120(分)

初期設定： 30(分)

■オートパワーオフ機能を解除するには

電源を入れるとき、左端の鍵盤を押しながら電源を入れます。オートパワーオフ機能が解除され、自動的に電源が切れなくなります。機能設定(31ページ 機能番号022)でオートパワーオフをOFFに設定することも解除できます。



NOTE

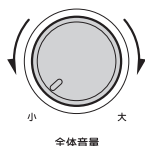
- オートパワーオフ機能で電源が切れた場合、それまでのパネル設定は自動的にバックアップされます。バックアップされる内容については、32ページをご覧ください。

注記

- 本体の状態によっては、一定時間操作せずにオートパワーオフの設定時間が経過しても電源が切れない場合があります。使用後は、手で本体の電源を切ってください。
- アンプ、スピーカー、コンピューターなどの外部機器を本体に接続した状態で、一定時間本体を操作しない場合は、外部機器損傷を防ぐために取扱説明書の手順に従って外部機器と本体の電源を切ってください。接続した状態で自動的に電源が切れるのを避けたい場合は、オートパワーオフを解除してください。

音量(マスターボリューム)を調節する

鍵盤を弾いて音を出しながら、[全体音量]ダイヤルを左右に回して、全体音量を調節します。



注意

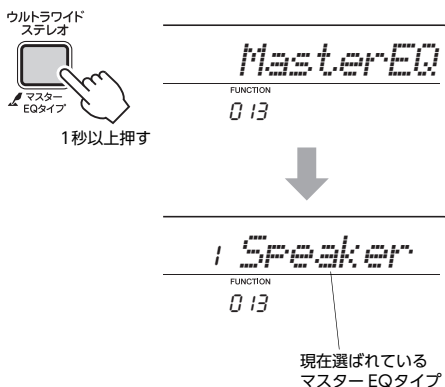
- 大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

マスターEQを設定して最適な音にする

本体スピーカーやヘッドフォン、外部スピーカーなどで鳴らすサウンドを、最も聞きやすい音に設定します。

1 [ウルトラワイドステレオ]ボタンを1秒以上押して、「MasterEQ」(31ページ 機能番号013)に切り替えます。

「MasterEQ」が数秒表示されたあと、現在のマスターEQタイプが表示されます。



2 [+]、[-]ボタンを何度か押して、好きなマスターEQタイプを選びます。

マスターEQタイプ

1	Speaker	楽器内部のスピーカーを使ってそのまま聞く場合を選びます。
2	Headphone	ヘッドフォンや外部スピーカーに接続して聞く場合を選びます。
3	Boost	より迫力のある音質が得られます。ただし、選択する音色やスタイルなどの種類によっては他のEQ設定より、音がひずみやすくなります。
4	Piano	ピアノソロ演奏に適したセッティングです。
5	Bright	中音域を抑えて音の印象を明るくします。
6	Mild	高域を抑えて音の印象を柔らかくします。

画面表示と基本操作

画面表示

音符表示

通常は押した鍵盤の譜面上の位置が表示されます。レッスン機能のときはソングのメロディーやコードが表示されます。コード辞書機能(21ページ)のときはコードの構成音が表示されます。

NOTE

- 1音でもオクターブ上の音が存在する場合は五線譜の上に「8va」が、オクターブ下の音が存在する場合は五線譜の下に「8va」が表示されます。
- 表示の制約により、和音の一部が表示されない場合があります。

ソング(SONG)、楽器(VOICE)、スタイル(STYLE)表示

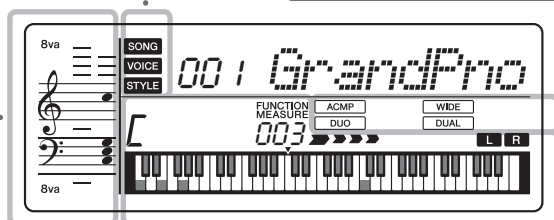
[ソング]、[楽器]、[スタイル]ボタンを押すと表示されます。

SONG
VOICE
STYLE

機能表示

各機能がオンのとき表示されます。

- WIDE** ウルトラワイドステレオ(17ページ)
- ACMP** スタイル(自動伴奏)(18ページ)
- DUAL** 楽器番号309~323のデュアル音色を選択すると表示されます。
- DUO** デュオ(22ページ)



コード表示

自動伴奏鍵域(18ページ)で押されたコードや、再生中のソングデータで指定されたコード名が表示されます。



小節(MEASURE)/機能(FUNCTION)表示

通常は、スタイルやソングの小節番号が表示されます。[機能]ボタンで機能設定をしている場合(30ページ)は、機能番号が表示されます。

MEASURE FUNCTION
003 023

鍵盤表示

押した鍵盤の位置が表示されます。レッスン機能のときはソングのメロディーやコードが表示されます。自動伴奏機能とコード辞書機能(21ページ)使用時には、コードの構成音が表示されます。



ソングトラック表示

ソングトラックに関する情報が表示されます。(25ページ)

L R

- R** 点灯：データがあります。
- R** 消灯：データがないか、消音されています。

ビート表示

スタイルやソングのビート(拍)が矢印で点滅表示されます。



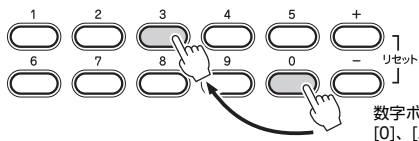
基本操作

この楽器での基本的な操作として、数字ボタンや[+]、[-]ボタンを使った項目や数値の変え方を説明します。

■数字ボタン[0]~[9]

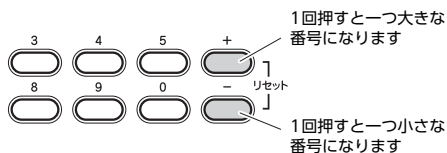
楽器音などの番号や項目の設定値を、直接数値で入力できます。

例) [003 ブライトピアノ] を選ぶ場合



■[+]、[-]ボタン

[+]ボタンを1回押すと、一つ大きな番号に、[-]ボタンを1回押すと、一つ小さな番号になります。押し続けると連続して変わります。



いろいろな楽器音(ボイス)で弾いてみよう

この楽器では、鍵盤の音をピアノ以外の楽器の音に変えられます。

楽器音(ボイス)を選ぶ

- 1 [楽器]ボタンを押します。
楽器音の番号と名前が表示されます。



- 2 数字ボタンや[+]、[-]ボタンを押して鳴らしたい楽器音を選択します。

楽器音と番号は、34ページの楽器リストをご覧ください。



- 3 鍵盤を弾いてみましょう。



楽器音の特徴

001~372	いろいろな楽器音(効果音も含む)です。
373~385 (ドラムキット)	「***キット」という名前のボイスには、いろいろな打楽器音が鍵盤に割り当てられており、鍵盤でドラム演奏ができます。割り当てられている打楽器については、36ページのドラムキットリストをご覧ください。
000	ワンタッチセッティング スタイルやソング(AUX IN端子から入力したソングは除く)を鳴らしながら鍵盤を弾いて演奏する場合、最適な楽器音を自動的に選択してくれる機能がワンタッチセッティングです。楽器音に楽器番号「000」を選ぶと、スタイルやソングに最適な楽器音が自動的に選択されます。

おもしろい音を鳴らす(効果音)

犬や猫の鳴き声、馬のいななき、気合の入った掛け声など、さまざまな効果音が鳴ります。

[効果音]ボタンを押します。



黒鍵も含めていろいろな鍵盤を押さえてみましょう。遊び終わったら、[グランドピアノ]ボタンを押して、鍵盤の音をグランドピアノの音に戻しておきましょう。各鍵盤に割り当てられている効果音は、37ページ ドラムキットリスト 楽器番号385番をご覧ください。

グランドピアノの音で弾く

いろいろな設定をリセットし、「とにかくピアノの音で弾きたい」というときは、[グランドピアノ]ボタンを押しましょう。



全鍵域の楽器音が、001グランドピアノになります。

メトロノームを使う

この楽器にはメトロノーム機能があります。ピアノ曲を練習するときなどに使いましょう。

1 [メトロノーム]ボタンを押します。

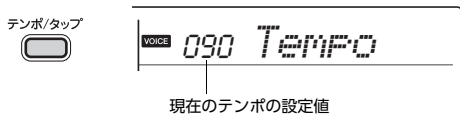


カチカチと鳴ります。

2 もう一度ボタンを押すと止まります。

テンポを調節するには

[テンポ/タップ]ボタンを押して、画面にテンポを表示させます。[+]、[-]ボタンを押して、画面でテンポの値を設定します。



数字ボタンを押して直接数値を入力することでも、テンポ調節できます。[+]と[-]ボタンを同時に押すと、そのソング/スタイル本来のテンポに戻ります。

拍子を設定するには

[メトロノーム]ボタンを1秒以上押して、「TimeSig」(31ページ 機能番号016)を表示させ、[+]、[-]ボタンや数字ボタンを押して拍子を設定します。

メトロノームの音量を設定するには

機能設定(31ページ 機能番号017)で設定します。

より広がりのある音で演奏する (ウルトラワイドステレオ)

音が楽器のスピーカーの位置よりさらに外側から聞こえ、音の広がりを楽しむことができます。

1 [ウルトラワイドステレオ]ボタンを押してウルトラワイドステレオをオンにします。



より広がりのある音に変わります。

2 もう一度ボタンを押すとウルトラワイドステレオはオフになります。

ウルトラワイドステレオ効果のタイプを選ぶには

ワイド効果のタイプを、機能設定(31ページ 機能番号014)で変更します。

エフェクトをかける

楽器の演奏音に以下のような効果(エフェクト)をかけることができます。

●リバーブ

コンサートホールやライブハウスで演奏しているような残響効果です。リバーブタイプは、スタイル/ソング選択時に自動的に最適なものが選択されますが、機能設定(31ページ 機能番号009)で変更することもできます。また、リバーブ効果のかかり具合を、機能設定(31ページ 機能番号010)で設定することもできます。

●コーラス

演奏音に広がりやうねりを持たせる効果です。コーラスタイプは、スタイル/ソング選択時に自動的に最適なものが選択されますが、機能設定(31ページ 機能番号011)で変更することもできます。

●パネルサステイン

機能設定(31ページ 機能番号012)でオンにすることにより、演奏音に余韻を付けることができます。サステインは、別売のフットスイッチ(13ページ)で付けることもできます。

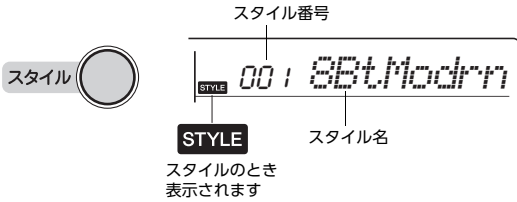
NOTE

- パネルサステインをオンにしても効果がかからない音色や、意図しない音になる音色があります。

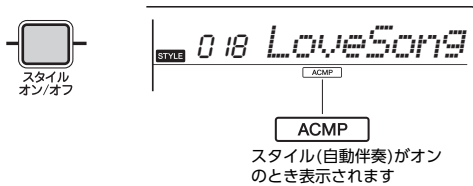
スタイル(自動伴奏)を鳴らしてみよう

この楽器には、左手でコード(和音)を押さえるだけで、自動的にそのコードにあったスタイル(リズム+ベース音+コード音)を鳴らす、自動伴奏機能があります。この自動伴奏機能を使って演奏してみましょう。

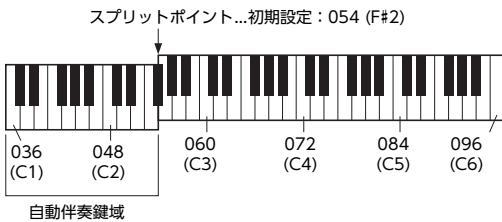
- 1 [スタイル]ボタンを押してから、数字ボタンや[+]、[-]ボタンを押して好きなスタイルを選びます。
パネル、または39ページのスタイルリストをご覧ください。



- 2 [スタイル オン/オフ]ボタンを押して、スタイル(自動伴奏)をオンにします。



この操作により、スプリットポイント(054:F#2)より左側の鍵盤が、和音(コード)だけを認識する「自動伴奏鍵域」になります。



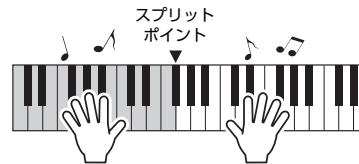
スプリットポイントは、機能設定(30ページ 機能番号005)で変更できます。

- 3 [シンクロスタート]ボタンを押して、シンクロスタートをオンにします。



- 4 自動伴奏鍵域でコードを弾き、スタイルをスタートさせます。

左手でいろいろなコードを弾き、右手でメロディーを弾いてみましょう。コードについては「スタイル再生用のコードの押さえ方」(20ページ)や「コードをコード辞書で調べる」(21ページ)をご覧ください。



- 5 [スタート/ストップ]ボタンを押してスタイルをストップします。



スタイルは、セクションを切り替えて演奏に変化を付けられます。19ページ「スタイルに変化を付ける(セクション)」をご覧ください。

リズムパートだけを鳴らすには

手順2で[スタイルオン/オフ]ボタンを押さずに、[スタート/ストップ]ボタンを押すことで、リズムパートだけを再生して、全鍵域を使ってメロディー演奏ができます。

NOTE

- 093~100の「ピアニスト」カテゴリーのスタイルはリズムパートがないためリズムは鳴りません。これらのスタイルは、スタイルをオンにした状態で[スタート/ストップ]ボタンを押し、スプリットポイントより左側の鍵盤を弾くと、リズム以外のベース音やコード音を含むスタイルが鳴ります。

スタイルの音量を調節する

スタイルの音量を調節することにより、鍵盤演奏とのバランスをとることができます。機能設定(30ページ 機能番号001)で調節します。

スタイルに変化を付ける(セクション)

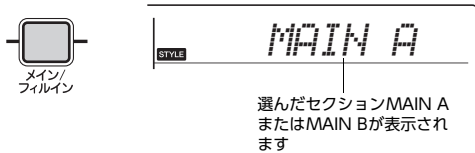
演奏を盛り上げるために、同じスタイルの中にも下記のバリエーションが用意されています。それが「セクション」です。



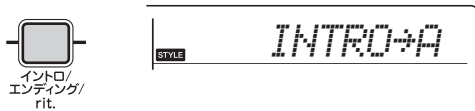
1~3

18ページの「スタイル(自動伴奏)を鳴らしてみよう」の操作1~3と同じです。

4 [メイン/フィルイン]ボタンを押して、メインAかBを選びます。



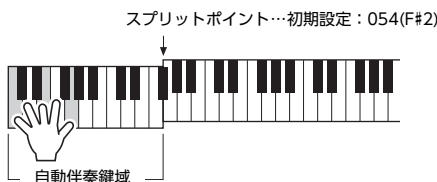
5 [イントロ/エンディング/rit.]ボタンを押します。



これで、イントロ→メインAの順でスタイル再生を始める準備ができました。

6 自動伴奏鍵域でコードを押さえると、スタイルのイントロがスタートします。

たとえばCメジャーを押さえてみましょう。コードの押さえ方は20ページをご覧ください。

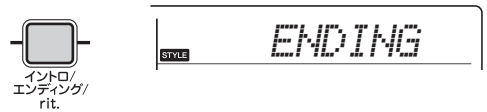


7 イントロが終わったら、曲の進行に合わせて演奏します。

左手でコード、右手でメロディーを弾きます。また、必要に応じて[メイン/フィルイン]ボタンを自由に押します。フィルインをはさんで、メインセクションA/Bが切り替わります。



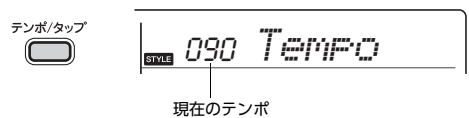
8 [イントロ/エンディング/rit.]を押します。



エンディングに切り替わり、エンディングの再生終了と同時にスタイル再生も終了します。エンディング再生中にもう1度[イントロ/エンディング/rit.]ボタンを押すと、リタルダンドして(だんだん遅くなって)スタイルは終了します。

再生テンポを変える

スタイルやソング(23ページ)の再生時のテンポを変えることができます。[テンポ/タップ]ボタンを押して、画面に「Tempo」を表示させ、数字ボタンや[+]、[-]ボタンを押してテンポの値を設定します。



[+]と[-]ボタンを同時に押すと、現在のスタイル/ソングの初期テンポに戻ります。

タップ機能を使う




































ソングやスタイルの再生中は、[テンポ/タップ]ボタンを2回押すとテンポを変えられます。間隔を空けて押すとテンポはゆっくりと、間隔を空けずに素早く押すとテンポは速くなります。停止中は、選ばれているスタイル/ソングが4拍子なら4回、3拍子なら3回、[テンポ/タップ]ボタンを押すと、その間隔のテンポで再生をスタートできます。



スタイル再生用のコードの押さえ方

ここでは、初めてコードを弾く方のために、よく使われるコードの自動伴奏鍵域での押さえ方をご紹介します。
この楽器のコード辞書機能(21ページ)でも、コードを調べることができます。また、このほかにもたくさんのコードがありますので、もっと詳しく知りたい場合は、市販のコード表などをご覧ください。

★がルート(根音)です。

メジャー	マイナー	セブンス	マイナーセブンス	メジャーセブンス
C 	Cm 	C7 	Cm7 	CM7 
D 	Dm 	D7 	Dm7 	DM7 
E 	Em 	E7 	Em7 	EM7 
F 	Fm 	F7 	Fm7 	FM7 
G 	Gm 	G7 	Gm7 	GM7 
A 	Am 	A7 	Am7 	AM7 
B 	Bm 	B7 	Bm7 	BM7 

- コード押鍵はその転回形も受け付けます。ただし、以下のコードを例外とします。
m7、m7♭5、6、m6、sus4、aug、dim7、7♭5、6(9)、sus2
- 7sus4とm7(11)は、省略した場合のみ転回形は受け付けません。
- sus2はルートのみ画面表示されます。
- コードとして成立しない鍵盤が押された場合、画面にコード名は表示されません。
また、そのときのスタイル演奏は、リズムとベース音だけになります。

簡単なコードの押さえ方

鍵盤を1~3個押さえて、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを指定することもできます。

《Cの例》



メジャー (M)
ルートキーを押さえてください。



マイナー (m)
ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵を同時に押さえてください。



セブンス(7)
ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵を同時に押さえてください。



マイナーセブンス(m7)
ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。

コードをコード辞書で調べる

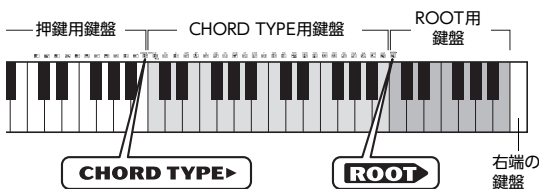
コード名がわかっていて、鍵盤の押さえ方がわからない場合は、コード辞書で調べてみましょう。

- 1 [3 マイペース]ボタンを1秒以上押します。
画面に「Dict.」が表示されます。



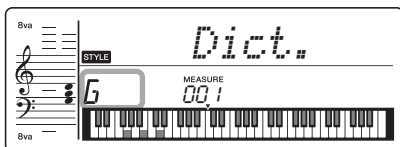
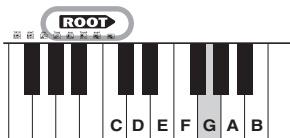
この操作により、鍵盤が下図にあるとおり3つの部分に分かれます。

- 「ROOT▶」表示から右：
コードルートを指定する鍵域で、音は鳴りません。
- 「CHORD TYPE▶」～「ROOT▶」の間：
コードタイプを指定する鍵域で、音は鳴りません。
- 「CHORD TYPE▶」より左：
上記2つの鍵域で指定したコードを実際に押さえてみるための鍵域。

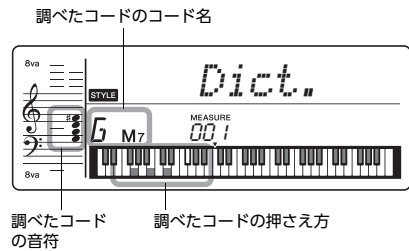
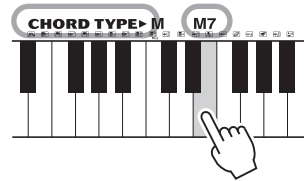


- 2 たとえば、GM7(Gメジャーセブンス)の押さえ方を調べましょう。

- 2-1. 「ROOT▶」の右側鍵域のGを押すと、ルート音として「G」が画面に表示されます。



- 2-2. 「CHORD TYPE▶」の右側鍵域から「M7」の鍵盤を押すと、画面の表示が「GM7」となり、その押さえ方が譜面表示と鍵盤イラストで表示されます。



- [+]、[-]ボタンを押すと、コードの転回形を表示します。

NOTE

- 通常、メジャーのコード名はルートキーだけで表記します。たとえば、「C」とだけ表示されていたら、Cメジャーを意味します。メジャーコードを調べる場合は、ルートキーを押したあとに「M」を押してください。
- コード辞書では、6(9)、M7(9)、M7(#11)、b5、M7b5、M7aug、m7(11)、mM7(9)、mM7b5、7b5、sus2は表示されません。

- 3 画面の表示に従って、「CHORD TYPE▶」表示より左側の鍵域でコードを押さえてみましょう。

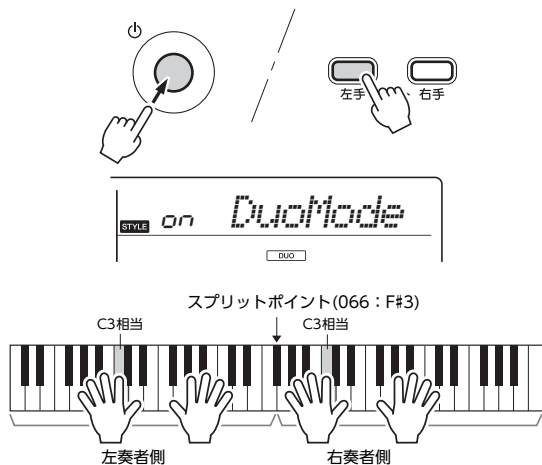
正しくコードが押さえられると、「ピン」と鳴り表示が点滅します。

二人で一緒に弾く(デュオ)

この楽器をデュオモードとして電源を入れると、鍵盤が左右の鍵域に分かれ、同時に二人が同じ音域で演奏できます。1台の楽器で二人同時に演奏したり、二人並んで座り、一人がお手本を弾き、もう一人がそれを見ながら練習したりする、といった使い方ができます。

1 楽器をデュオモードとして起動するため、[左]ボタンを押したまま[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。

[DuoMode] が数秒表示されたあと、066 (F#3) がスプリットポイントとなり、鍵盤が左奏者側と右奏者側に分かれます。



NOTE

- 右奏者側と左奏者側では、同じ音色(楽器番号309~323が選択された場合を除きます)に設定されます。
- デュオのスプリットポイントはF#3から変更できません。

2 左側鍵域と右側鍵域に分かれて、二人で演奏しましょう。

音色を選択する

16ページ「楽器音(ボイス)を選ぶ」の手順1~2の操作で選択します。

NOTE

- デュオモードではレッスン機能は使用できません。

デュオモードでのスピーカー音

デュオモードの初期設定では、左側鍵域の演奏音が左側のスピーカーから、右側鍵域の演奏音が右側のスピーカーから鳴ります。スピーカー音の鳴らしかたについては、下記手順で変更ができます。

1. 機能設定で「VoiceOut」(31ページ 機能番号015)を呼び出します。
2. 「Normal」または「Separate」のどちらかを選択することにより、左右のスピーカーの出力方法を選択します。

- 「Normal」: 左側鍵域と右側鍵域の演奏音が、左右両方のスピーカーで鳴ります。
- 「Separate」: 左側鍵域の演奏音が左側のスピーカーで、右側鍵域の演奏音が右側のスピーカーで鳴ります。

デュオモードでの初期設定は「Separate」です。

NOTE

- デュオモードでは、VoiceOut = Separate (31ページ 機能番号015)の設定により、ステレオサウンドの定位(パン)や左右の音質や音量が、通常とは聞こえ方が違います。特にキーごと定位の異なるドラムキットなどではご注意ください。

デュオモードでのサステイン効果

通常のモードと同様、デュオモードでも下記いずれかの方法で鍵盤演奏音に余韻(サステイン効果)を付けられます。いずれも、左側鍵域と右側鍵域の両方に効果をかけられます。

- [SUSTAIN]端子に接続したフットスイッチ(13ページ)を踏むこと。
- 常にサステインを効かせたい場合は、機能設定「Sustain」(パネルサステイン)(31ページ 機能番号012)をONに設定すること。

NOTE

- サステイン効果は左側鍵域と右側鍵域で別々にかけることはできません。
- パネルサステインは、オンにしたまま電源を切ると、オンの状態が保持されます。

デュオモードでのスタイル再生

リズムパートの再生のみ可能です。他のパートは再生できません。

デュオモードでのフレーズ録音

右奏者側と左奏者側は同じトラックに録音されます。

3 デュオを解除するには、[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を切ります。

ソングを鳴らしてみよう

ソングとは通常「歌」を意味しますが、この楽器では曲データを指します。この楽器に内蔵されているソングは、聞いて楽しむだけでなく、レッスン機能など、この楽器に備わっている機能と組み合わせて使えます。

デモソングを聞く

[デモ]ボタンを押します。



ソング番号001～003が順番に演奏され、最後のソングが再生し終わると、また最初のソングに戻ってくり返し再生されます。

ストップしたいときは、もう一度[デモ]ボタンまたは[スタート/ストップ]ボタンを押します。

NOTE

- [デモ]ボタンを押したあと、[+]ボタンを押すと、次のソングを選ぶことができます。[-]ボタンを押すと、そのソングの先頭に戻ります。

ソングを選んで聞く

1 [ソング]ボタンを押して、好きなソングを選びます。

38ページのソングリストを参考に、数字ボタンを使って好きなソングを選びます。



2 [スタート/ストップ]ボタンを押してソングを聞いてみましょう。

もう一度[スタート/ストップ]ボタンを押すと、ソングの再生は止まります。



テンポを変えるには

19ページ「再生テンポを変える」をご覧ください。

ソングの音量を調節するには

ソングの音量を調節することにより、鍵盤演奏とのバランスをとることができます。機能設定(30ページ 機能番号002)で調節します。

BGMとして連続再生する

初期設定で[デモ]ボタンを押すと、内蔵ソング3曲が連続再生されますが、連続再生の対象を内蔵ソング全曲に変えることができます。これにより、さまざまな曲をBGMとして鳴らすことができます。

1 [デモ]ボタンを1秒以上押します。

[DemoGrp] (31ページ 機能番号019)が画面に数秒表示されたあと、現在の再生対象のグループが表示されます。



2 [+]、[-]ボタンを押して、連続再生させたいグループを以下から1つ選びます。

Demo	内蔵ソング001～003
Preset	内蔵ソング001～090
User	ユーザーソング103

3 [デモ]ボタンを押します。

選択したグループの曲が、連続再生されます。

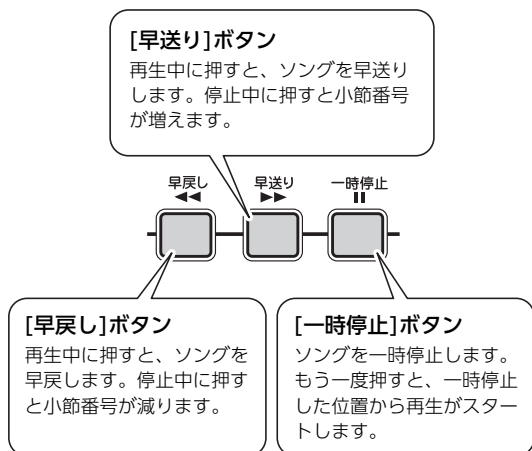
再生をストップさせたいときは、もう一度[デモ]ボタンまたは[スタート/ストップ]ボタンを押します。

ランダムな順番で再生する

デモグループが「Preset」に設定されている場合は、[デモ]ボタンでの再生の順番を番号順とランダムな順番とで切り替えることができます。[機能]ボタンを何度か押して、機能設定(31ページ 機能番号020)で「PlayMode」を表示させ、「Normal」か「Random」を選びます。

ソングを早送り、早戻し、一時停止する

オーディオプレーヤーのようにソングの再生をコントロールできます。



NOTE

- A-Bリピートが設定されている場合、早送りや早戻しはその設定範囲内のみ可能です。
- [デモ]ボタンを使ってソングを鳴らしているときは、[早戻し]、[早送り]、[一時停止]ボタンは使えません。

内蔵ソングのメロディー音色を変更する

内蔵ソングのメロディー音色を、好みの楽器音に変えることができます。

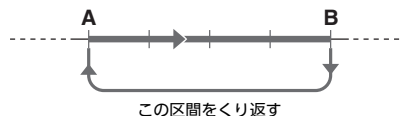
- 1 好きなソングを選んで、鳴らします。
- 2 好きな楽器音を選びます。
- 3 [楽器]ボタンを1秒以上押します。
「SONG MELODY VOICE」と画面に表示されたあと、ソングのメロディー音色が手順2で選んだ楽器音に変わります。

NOTE

- 他のソングを選ぶことで、変更したメロディー音色はリセットされます。
- ユーザーソングのメロディー音色は変更できません。

ソングの一部をくり返して聞く (A-Bリピート)

ソングのある特定の範囲(A点とB点)を小節単位で指定して、くり返し再生できます。



- 1 ソング再生をスタートします(23ページ)。
- 2 ソングを再生しながら、くり返し再生の開始位置(A点)にしたいポイントに来たら、[A-B リピート]ボタンを押します。



- 3 くり返し再生の終了地点(B点)にしたいポイントに来たら、もう一度[A-B リピート]ボタンを押します。

これで、A-B間のくり返し再生(リピート再生)が始まります。

NOTE

- 停止中でも[早戻し]、[早送り]ボタンで小節を設定できます。
- くり返しの開始位置(A)を曲の先頭に指定したい場合は、ソングをスタートする前に[A-B リピート]ボタンを押して設定します。

- 4 くり返し設定を取り消すには、[A-B リピート]ボタンを押します。

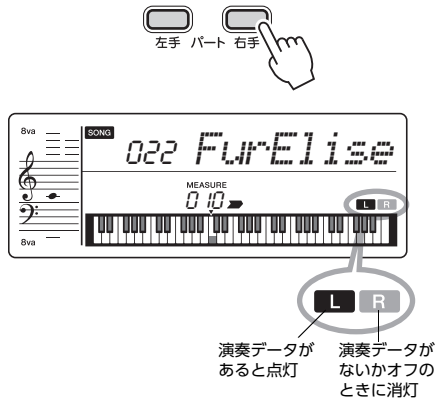
再生を停止するには、[スタート/ストップ]ボタンを押します。

NOTE

- ソング番号を変えると、くり返しはキャンセルされます。

各パートをオン/オフする

ソングデータは2つのパートで構成されています。各パートは、ソング再生中に該当ボタンを押すことで、個別にオン/オフができます。



左手および右手パートをオン/オフすることにより、オンのパートを聞きながら、もう一方のオフのパートを練習することができます。

NOTE

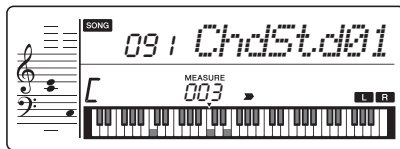
- 他のソングを選ぶことで、パートオン/オフの状態はリセットされます。

コードの響きを体感しよう(コードスタディ)

カテゴリー「コードスタディ」にあるソング91～102を再生することにより、演奏に必要なコードの体感ができます。ソング91～97では、それぞれ単一のコード(C, Dm, Em, F, G, Am, Bm)で曲が構成されており、コードをひとつずつ体感できます。ソング98～102では、それぞれいくつかのコードで曲が構成されており、簡単なコード進行を体感できます。これらのソングを再生し、画面に表示された音符を見ながら鍵盤を押さえることで、コードの響きを体感しましょう。

コードをひとつずつ体感しよう

- 1 23ページ「ソングを選んで聞く」の手順1の操作で、カテゴリー「コードスタディ」にあるソング91～97の中からソングを選択します。
- 2 [スタート/ストップ]ボタンを押して、選択したソングを再生します。
- 3 画面に表示された音符を見ながら鍵盤を押さえます。
コードの響きをひとつずつ体感しましょう。



注記

- ソング再生しながら演奏する際は、発音数をオーバーしないよう、演奏するパートをオフ(25ページ)にして弾くことをお勧めします。

NOTE

- [3 マイペース]ボタンを押して、マイペース機能(27ページ)を活用してみましょう。

コード進行を体感しよう

- 1 [+] / [-] ボタンを押して、ソング番号98～102の中からソングを選択します。
- 2 [スタート/ストップ]ボタンを押して、選択したソングを再生します。
- 3 画面に表示された音符を見ながら鍵盤を押さえます。
簡単なコード進行を体感しましょう。またコードの変更がスムーズにできるようになるまで、くり返し鍵盤を押さえてみましょう。

NOTE

- [3 マイペース]ボタンを押して、マイペース機能(27ページ)を活用してみましょう。

ソングを選んでレッスンしてみよう

好きなソングの、右手パート、左手パートを個別にレッスンしたり、両パートをまとめてレッスンしたりできます。付属のソングブックの楽譜を見ながら、3種類のレッスンを試してみましょよう。

レッスン紹介

●レッスン1 お手本を聞く (LISTEN)

レッスン1では鍵盤を弾く必要はありません。選んだパートのお手本メロディーが鳴るので、よく聞いて覚えましょよう。

●レッスン2 タイミング (TIMING)

レッスン2では鍵盤を弾くタイミングを練習します。タイミングが合っていれば、どの鍵盤を弾いても、画面に表示される正しい音が鳴ります。

●レッスン3 マイペース (WAITING)

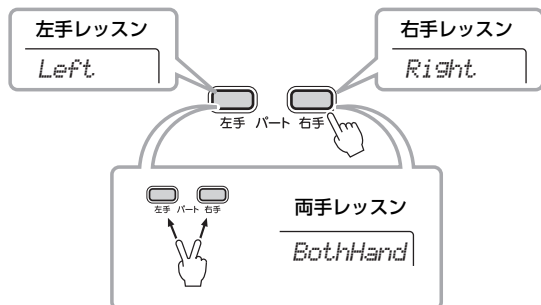
レッスン3では画面に表示される音を正しく弾けるよう練習します。正しい鍵盤が押さえられるまで、再生は進まず待ってくれ、再生テンポも弾く人のペースに合わせて変わってくれるので、マイペースで練習できます。

NOTE

- レッスン3「マイペース」で再生テンポを変化させたくないときは、機能設定(31ページ 機能番号018)でOFFにします。

レッスンをやってみよう

- 1 [ソング]ボタンを押して、レッスンしたいソングを選びます。
- 2 [右手]ボタン、[左手]ボタンのどちらか、または両方を押して練習したいパートを選びます。



NOTE

- この段階で、「No LPart」と表示された場合、左手パートを含まないソングを示しています。

- 3 [1 お手本]、[2 タイミング]、または[3 マイペース]ボタンを押して、レッスン曲を再生します。

レッスンを始めましょよう。



NOTE

- レッスン中でも、[1 お手本]、[2 タイミング]、または[3 マイペース]ボタンを押して「1 お手本」、[2 タイミング]、[3 マイペース]を切り替えられます。また、[スタート/ストップ]ボタンでレッスンを止めることもできます。
- レッスン中は、メインボイスは「000」(ワンタッチセッティング)(16ページ)に切り替わりましょよう。

- 4 レッスン曲の再生が終了すると、採点結果が表示されます。

[2 タイミング]、[3 マイペース]で、1曲レッススが終了したとき、レッスン結果を採点します。

Excellent! ■■■■■■■■
Very Good! ■■■■■■
Good ■■■■
OK ■■

評価の表示後、ソングが最初から自動的にスタートし、再びレッススが始めましょよう。

NOTE

- 曲のメロディー音色を変えると、選んだ音色によっては画面に表示されている鍵盤の位置がオクターブ単位でずれることがあります。

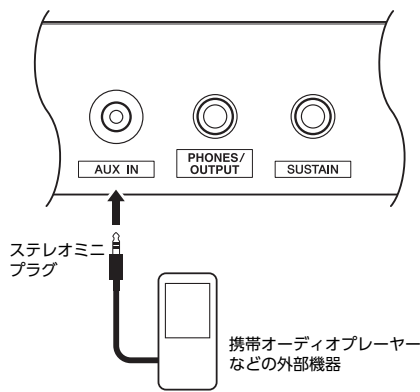
- 5 レッスンを終わるには

[スタート/ストップ]ボタンを押すと、ソングがストップし、レッススは終わります。

外部機器の音をこの楽器で鳴らそう

携帯オーディオプレーヤーなどのオーディオ機器を楽器本体に接続すれば、再生音を本体スピーカーで鳴らし、再生に合わせて鍵盤を弾くことができます。

- 1 オーディオ機器および楽器本体の電源をオフにします。
- 2 オーディオ機器を楽器本体の[AUX IN]端子に接続します。
片側がステレオミニプラグ、もう片方はオーディオ機器の出力端子に接続できるプラグを持つオーディオケーブル(抵抗なし)をお使いください。



- 3 オーディオ機器、楽器本体の順に電源を入れます。
- 4 オーディオ機器を再生します。
オーディオ機器の再生音が楽器本体のスピーカーで鳴ります。
- 5 オーディオ機器と楽器本体の音量バランスを調整します。
オーディオ機器の再生音量は、オーディオ機器側で調整します。
- 6 オーディオ機器の再生音に合わせて鍵盤を弾いてみましょう。
- 7 演奏が終わったら、オーディオ機器での再生を停止します。

⚠ 注意

- この楽器を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切ったあとで接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。

注記

- 電源を入れるときは、外部機器→この楽器の順に、電源を切るときは、この楽器→外部機器の順に行なってください。

手弾きのフレーズを録音しよう(フレーズ録音)

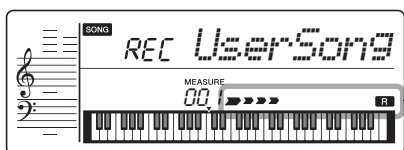
手軽に手弾きのフレーズを、ユーザーソング(ソング番号103)として録音できます。

NOTE

- フレーズ録音の録音容量は、約300音符です。

- 1 音色を好みの設定にします。
- 2 [フレーズ録音]ボタンを押して録音待機に入ります。
画面にユーザーソングが表示されます。

フレーズ録音



点滅します

録音待機を抜けるには、[フレーズ録音]ボタンをもう一度押して画面の点滅を止めます。

注記

- ユーザーソングが録音済みの場合、録音は上書き録音(すでに録音しているユーザーソングのデータを消して、新しく録音する)になります。

- 3 鍵盤を押さえると同時に録音が始まります。

注記

- 録音中は、電源を切ったり、電源アダプターを抜き差ししたりしないでください。データが失われます。

NOTE

- 録音中に録音容量がいっぱいになった場合は、画面に「Mem Full」が表示され、録音を終了してソング選択画面になります。
- 鍵盤を押さずに、[スタート/ストップ]ボタンを押しても録音が始まります。

録音中の制限事項

- リバーブレベル、スタイル、メトロノーム音、トランスポーズ、チューニングは録音できません。
- 以下の設定やボタンは録音中は変更できないか、変更できても録音されません。
スプリットポイント、リバーブタイプ、コーラスタイプ、[機能]ボタン、[グランドピアノ]ボタン

- 4 [スタート/ストップ]ボタンを押して、録音を終了します。

- 5 [スタート/ストップ]ボタンを押して、録音した曲を再生します。

NOTE

- ユーザーソングのデータは、空データを上書きすると、消去できます。空データを上書きするには、手順2で録音待機に入ったあと、[スタート/ストップ]ボタンを2回押します。

機能設定

チューニングやスプリットポイント、各楽器音やエフェクトなどの細かな設定をするのが機能設定です。

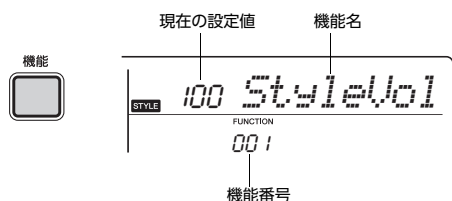
1 設定したい項目の画面表示が出るまで、[機能] ボタンを何度か押します。

[機能] ボタンを押すたびに、機能番号がひとつずつ大きな番号になります。

[機能] ボタンを押しながら、[-] ボタンを押すと機能番号をひとつ小さな番号に戻すことができます。

また、[機能] ボタンを押しながら、[+] ボタンを押すと機能番号をひとつ大きな番号にすることができます。

[+]、[-] ボタンだけを押しても、機能番号は変わりません。

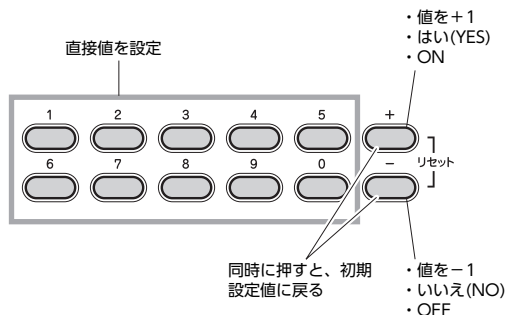


項目によっては、選択された機能名が数秒表示されたあと、現在の設定値が表示されます。

NOTE

- ソング、スタイル、メトロノーム再生中は、機能番号は表示されません。拍数が表示されます。

2 数字ボタンや、[+]、[-] ボタンを押して、値を設定します。



NOTE

- 機能設定から抜けるには[ソング]、[楽器]、[スタイル] ボタンのいずれかを押します。

機能リスト

機能番号	機能名	画面表示	設定値	初期設定	内容
音量の設定					
001	スタイル音量	StyleVol	000~127	100	スタイル選択時にスタイルの再生音量を設定します。(18ページ)
002	ソング音量	SongVol	000~127	100	ソング選択時にソングの再生音量を設定します。(23ページ)
楽器全体					
003	トランスポーズ	TransPos	-12~12	0	鍵盤の音の高さを半音単位で設定します。
004	チューニング	Tuning	427.0Hz~453.0Hz	440.0Hz	楽器全体のチューニング(音の高さの微調整)を設定します。(約0.2Hz単位)
005	スプリットポイント	SplitPnt	036~096 (C1~C6)	54 (F#2)	楽器の音色と自動伴奏鍵域の境目を設定します。自動伴奏のスプリットポイントにもこの設定が適用されます。
ボイス(16ページ)					
006	音量	M.Volume	000~127	*	ソングやスタイルに合わせて演奏するときの、手弾き音の音量を調節します。
007	オクターブ	M.Octave	-2~+2	*	ボイスの音程をオクターブ単位で設定します。
008	コーラスレベル	M.Chorus	000~127	*	ボイスにかけるコーラスのかかり具合を設定します。

機能番号	機能名	画面表示	設定値	初期設定	内容
エフェクト					
009	リバーブタイプ	<i>Reverb</i>	1~3 (Hall 1~3) 4~5 (Room 1~2) 6~7 (Stage 1~2) 8~9 (Plate 1~2) 10 (Off (オフ))	**	リバーブタイプ(40ページ)を選択します。
010	リバーブレベル	<i>RevLevel</i>	000~127	64	リバーブのかかり具合を設定します。
011	コーラスタイプ	<i>Chorus</i>	1 (Chorus1) 2 (Chorus2) 3 (Chorus3) 4 (Flanger1) 5 (Flanger2) 6 (Off (オフ))	**	コーラスタイプ(40ページ)を選択します。
012	パネルサステイン	<i>Sustain</i>	ON/OFF	OFF	この楽器のパネルサステイン機能を有効にする(ON)が無効にする(OFF)かを設定します。
013	マスターEQタイプ	<i>MasterEQ</i>	1 (Speaker) 2 (Headphone) 3 (Boost) 4 (Piano) 5 (Bright) 6 (Mild)	1 (Speaker)	スピーカーから出力されるサウンドを、楽器の置かれている環境に応じてもっとも聞きやすい音に設定します。(14ページ)
014	ワイドタイプ	<i>Wide</i>	1 (Wide1) 2 (Wide2) 3 (Wide3)	2 (Wide2)	ウルトラワイドステレオのタイプを設定します。設定値が大きくなるほど、効果が大きくなります。(17ページ)
015	ボイスアウトプット	<i>VoiceOut</i>	1 (Normal) 2 (Separate)	2 (Separate)	デュオモード(22ページ)の場合に有効な機能です。「Normal」を選ぶと、左側鍵域と右側鍵域の演奏音が左右両側のスピーカーで鳴ります。「Separate」を選ぶと、左側鍵域の演奏音が左側スピーカーで、右側鍵域の演奏音が右側スピーカーで鳴ります。
メトロノーム(17ページ)					
016	拍子	<i>TimeSig</i>	00~15	**	メトロノームの拍子を設定します。 1拍目に「チーン」となり、それ以外の拍では「カチ」と鳴ります。拍子を00に設定した場合は、「チーン」と鳴らずにすべての拍で「カチ」と鳴ります。
017	メトロノーム音量	<i>MetroVol</i>	000~127	100	メトロノームの音量を設定します。
レッスン(27ページ)					
018	ユアテンポ	<i>YourTemp</i>	ON/OFF	ON	「マイベース」のソングのテンポを、弾くペースに合わせて変化させる(ON)か、変化しない(OFF)かを設定します。
デモ(23ページ)					
019	デモグループ	<i>DemoGrp</i>	1 (Demo) 2 (Preset) 3 (User)	1 (Demo)	再生させるデモのグループを選択します。
020	プレイモード	<i>PlayMode</i>	1 (Normal) 2 (Random)	1 (Normal)	デモの再生方法を選択します。
021	デモキャンセル	<i>D-Cancel</i>	ON/OFF	OFF	オン(ON)にすると、[デモ]ボタンを押してもデモソングがスタートしません。
オートパワーオフ(14ページ)					
022	オートパワーオフモード	<i>AutoOff</i>	OFF、5/10/15/30/ 60/120(分)	30(分)	オートパワーオフするまでの時間を設定します。
バッテリー (12ページ)					
023	バッテリー選択	<i>Battery</i>	1 (Alkaline) 2 (Ni-MH)	1 (Alkaline)	電池の種類を選択します。 Alkaline：アルカリ乾電池、マンガン乾電池 Ni-MH：充電式ニッケル水素電池(充電電池)

* 音色の組み合わせごとに最適な設定値になっています。

** 現在選ばれている「ソング」「スタイル」ごとに最適な設定値になっています。

バックアップと初期化

バックアップデータ

以下の設定は自動的にバックアップされるため、電源を切っても消えません。

バックアップされる内容

- ユーザーソング (29ページ)
- 機能設定 : (30ページ)
チューニング、ユアテンポ、マスターEQタイプ、パネルサステイン、オートパワーオフ、バッテリー選択

バックアップデータを初期化したいときは「バックアップクリア」を実行してください。

注記

バックアップは電源を切るときに自動的に実行されますが、下記の場合で電源が切れたときは、バックアップが実行されませんのでご注意ください。

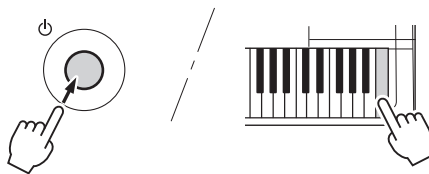
- 電源が入っている状態で、電源アダプターを抜いたとき
- 停電などで突然電源が切れたとき
- アルカリ/マンガン乾電池を使用していて、消耗して電源が切れたとき

初期化

バックアップデータを消去し、設定を工場出荷時の状態に戻すことを「初期化」と呼びます。初期化は、目的に応じて、以下の方法で行なってください。

バックアップクリア

バックアップデータを初期状態に戻します。
鍵盤の最高音(白鍵)を押しながら[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。



困ったときは

現象	原因と解決方法
[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して、電源を入れたとき、または切ったとき、ポツンという音がする。	故障ではありません。本体に電流が流れるためです。
この楽器の近くで携帯電話を使っている(または呼び出し音が鳴っている)とき、本体スピーカーやヘッドフォンから雑音が出る。	この楽器の近くでは携帯電話の電源を切ってください。この楽器の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
iPad/iPhone/iPod touchのアプリケーションと楽器と一緒に使っているとき、本体スピーカーやヘッドフォンから雑音(ノイズ)が出る。	iPad/iPhone/iPod touchのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためiPad/iPhone/iPod touchの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
鍵盤を押さえても、音が鳴らない。 ソングやスタイルを再生しても、音が鳴らない。	[PHONES/OUTPUT]端子に、ヘッドフォンなどのプラグが接続されていませんか？ヘッドフォン(プラグ)を抜いてください。
右手の鍵域を弾いても、音が鳴らない。	コード辞書(21ページ)を使用していませんか？右手の鍵域はコードのルート音とコードタイプの指定用となり、弾いても音が鳴りません。
同時に押さえた鍵盤の音で、鳴らない音がある。 または、鍵盤演奏すると、スタイルやソングの演奏音、メトロノームが途中で途切れる。	この楽器の最大同時発音数(32音)を越えています。 スタイルやソング、メトロノームなどを含めて最大32音の範囲で鳴らすことができます。32音以上の発音情報があった場合、発音中のいずれかの音が消えてしまいます。
鍵盤を弱く弾いても強く弾いても、音量が変わらない。	この楽器は鍵盤を弾く強さに関係なく、一定音量で鳴ります。
[スタイル オン/オフ]ボタンを押してもACMP ONが表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • スタイルに関する機能を使うときは、まず[スタイル]ボタンを押してください。 • デュオモード時には表示されません。
スタイルが正しく演奏されない。	<p>スタイル音量の設定が下がっていませんか？スタイル音量の設定を確認してください。(30ページ 機能番号001)</p> <p>コード押鍵に対し、スプリットポイントの設定が不適切ではありませんか？18ページを参考に、機能設定(30ページ 機能番号005)で、スプリットポイントを適切な位置に設定してください。 ACMP ON表示は出ていますか？表示がでない場合は、もう一度[スタイル オン/オフ]ボタンを押してACMP ONを表示させてください。</p>
スタイルが、押さえたコードのとおりには鳴らない。	<ul style="list-style-type: none"> • 同じようなコードが連続した場合(マイナーセブンスコードに、同じルートマイナーコードが続いた場合など)、スタイルが変化しないことがあります。 • 鍵盤を2つだけ押さえた場合、その前のコードをもとに最適なコードが検出されます。 • オクターブ(完全8度)の押鍵では、ルート音のみによる伴奏が演奏されます。
フットスイッチ(サステイン)のオン/オフが逆になった(フットスイッチを踏むと音がカットされ、フットスイッチから足を離すとサステインが効く)。	電源を入れたあとにフットスイッチを接続したため、もしくはフットスイッチを踏みながら電源を入れたためです。 電源を切った状態で接続し、フットスイッチを踏まずに電源を入れてください。
押さえる鍵盤によって、音質や音量が異なる。	故障ではありません。この楽器で採用しているAWM音源方式では、リアルな楽器表現を可能にするために、鍵盤をいくつかにかけて楽器音をサンプリングする「マルチサンプリング」という方式をとっています。これらの音色は、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。
<ul style="list-style-type: none"> • 音量が小さくなった。 • 音質が劣化した。 • リズムが止まる。 • ソングなどが、正しく演奏(再生)されない。 • 突然画面の表示が消え、パネル設定がリセットされた。 	電池が消耗しています。6本とも新しい電池に交換するか、または、付属の電源アダプターを使用してください。
電源が勝手に切れる。	故障ではありません。オートパワーオフ機能が動いたためです。(14ページ)オートパワーオフ機能を使用しない場合は、機能設定(31ページ 機能番号022)でオートパワーオフをOFFに設定してください。
[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して、電源を入れたとき、電源がすぐに切れる。	故障ではありません。指定以外の電源アダプターを使用すると、電源を入れたときに電源がすぐに切れる場合があります。

楽器リスト

最大同時発音数について

この楽器の最大同時発音数は32音ですが、スタイルやソングなどを含めたすべての発音数の合計が32音ということです。したがって、スタイルやソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。32音以上になると、後着優先*で発音します。

*後着優先：最大同時発音数を超えて演奏情報を受けた場合、発音中の音を切って音を止め、後から送られてくる演奏情報を優先的に発音するしくみ。

NOTE

・フットスイッチを踏んでいる間に鍵盤から手を離すと、音色によって音が減衰して消えるものと、音が続いて消えないものがあります。

[パネル楽器リスト]

楽器番号	楽器名
ピアノ	
1	グランドピアノ
2	モノラルグランドピアノ
3	ブライツピアノ
4	メローピアノ
5	ホンキートンクピアノ
6	ピアノストリングス
7	ドリーム
8	ハーブシコード1
9	ハーブシコード2
エレピ	
10	エレクトリックピアノ1
11	エレクトリックピアノ2
12	エレクトリックピアノ3
13	エレクトリックグランドピアノ
14	コーラスエレクトリックピアノ1
15	コーラスエレクトリックピアノ2
16	デチューンドエレクトリックピアノ
17	DX+アナログエレクトリックピアノ
18	クラビ
19	ワウクラビ
オルガン	
20	ドローパーオルガン1
21	ドローパーオルガン2
22	60sドローパーオルガン1
23	60sドローパーオルガン2
24	60sドローパーオルガン3
25	70sドローパーオルガン1
26	70sドローパーオルガン2
27	デチューンドドローパーオルガン
28	パーカッションオルガン1
29	パーカッションオルガン2
30	70sパーカッションオルガン
31	デチューンドパーカッションオルガン
32	16+2'2/3オルガン
33	オルガンベース
34	ロックオルガン
35	ロータリーオルガン
36	スローロータリーオルガン
37	ファストロータリーオルガン
38	パイプオルガン1
39	パイプオルガン2
40	パイプオルガン3
41	オルガンフルート
42	トレモロオルガンフルート
43	ノートルダム
44	チージーオルガン
45	ライトオルガン
46	リードオルガン
47	パワフルオルガン
アコーディオン	
48	アコーディオン
49	タンゴアコーディオン1
50	タンゴアコーディオン2
51	ハーモニカ1
52	ハーモニカ2
ギター	
53	ナイロン弦ギター
54	スチール弦ギター
55	ナイロン弦&スチール弦ギター
56	スチール弦ギター&ボディーサウンド

楽器番号	楽器名
57	ミュートスチール弦ギター
58	12弦ギター
59	ジャズギター
60	ジャズアンプ
61	ジャズマン
62	クリーンギター
63	コーラスギター
64	ファンクギター
65	ギターピンチ
66	ミュートギター
67	オーバードライブギター
68	ディストーションギター
69	フィードバックギター1
70	フィードバックギター2
71	ギターフィードバック
72	ギターハーモニクス1
73	ギターハーモニクス2
74	ギターハーモニクス3
ベース	
75	アコースティックベース1
76	アコースティックベース2
77	フィンガーベース1
78	フィンガーベース2
79	フィンガーダーク
80	フィンガースラップベース
81	ピックベース
82	フレットレスベース1
83	フレットレスベース2
84	フレットレスベース3
85	フレットレスベース4
86	スラップベース1
87	スラップベース2
88	スラップベース3
89	ジャズリズム
90	ベース&ディストーションギター
91	ミュートピックベース
92	モジュラーテッドベース
93	パンチサムベース
94	シンセベース1
95	シンセベース2
96	シンセベース2ダーク
97	テクノシンセベース
98	メロシンセベース
99	シーケンスドベース
100	クリックシンセベース
101	モジュラーシンセベース
102	DXベース
ストリングス	
103	ストリングス1
104	ストリングス2
105	ストリングス3
106	スローストリングス
107	ステレオストリングス
108	ステレオスローストリングス
109	オーケストラ1
110	オーケストラ2
111	60sストリングス
112	サスペンズストリングス
113	レガートストリングス
114	ウォームストリングス
115	キングダム

楽器番号	楽器名
116	トレモロストリングス
117	スロートレモロストリングス
118	トレモロオーケストラ
119	ピチカートストリングス
120	バイオリン
121	スローバイオリン
122	ピオラ
123	チェロ
124	コントラバス
125	ハーブ
126	シンセストリングス1
127	シンセストリングス2
128	オーケストラヒット1
129	オーケストラヒット2
130	インパクト
コーラス	
131	クワイアアー
132	ボイスウー
133	ステレオクワイア
134	メロークワイア
135	クワイアストリングス
136	シンセボイス1
137	シンセボイス2
138	コーラル
139	アナログボイス
サクソ	
140	テナーサクソ
141	ブレッシーテナーサクソ
142	アルトサクソ
143	ソプラノサクソ
144	バリトンサクソ
145	サクソセクション
146	クラリネット
147	オーボエ
148	イングリッシュホルン
149	パサーン
トランペット	
150	トランペット
151	ウォームトランペット
152	ミュートトランペット
153	トロンボーン1
154	トロンボーン2
155	トランペット&トロンボーンセクション
156	フレンチホルン1
157	フレンチホルン2
158	フレンチホルンソロ
159	ホルンオーケストラ
160	チューバ
ブラス	
161	ブラスセクション
162	シンセブラス1
163	シンセブラス2
164	ソフトブラス
165	レゾナントシンセブラス
166	クワイアブラス
フルート	
167	フルート
168	ピッコロ
169	パンフルート
170	リコーダー
171	ポトル

楽器番号	楽器名	楽器番号	楽器名	楽器番号	楽器名
172	尺八	244	ベルクワイア	315	エレクトリックピアノパッド1
173	口笛	245	ベルハーブ	316	エレクトリックピアノパッド2
174	オカリナ		パーカッション	317	エレクトリックピアノパッド3
	シンセリード	246	ビブラフォン	318	オクターブストリングス
175	スクエアリード1	247	ソフトビブラフォン	319	オクターブプラス
176	スクエアリード2	248	マリンバ	320	オーケストラトゥッチェイ
177	LMスクエア	249	ソフトマリンバ	321	オクターブコーラス
178	ソートゥースリード1	250	サインマリンバ	322	ジャズセクシオン
179	ソートゥースリード2	251	パリンバ	323	フルート&クラリネット
180	シックソートゥース	252	ログドラム		サウンドエフェクト
181	ダイナミックソートゥース	253	シロフォン	324	フレットノイズ
182	デジタルソートゥース	254	スチールドラム	325	プレスノイズ
183	サインリード	255	チェレスタ	326	カッティングノイズ1
184	ソロサイン	256	ミュージックボックス	327	カッティングノイズ2
185	カリオペリード	257	オルゴール	328	ストリングスラップ
186	チフリード	258	チャーチベル	329	フルートキーリック
187	チャランリード	259	カリヨン	330	鳥のさえずり1
188	ボイスリード	260	チューブラーベル	331	鳥のさえずり2
189	5度リード	261	ティンパニ	332	電話1
190	ベース&リード	262	グロックンシュピール	333	電話2
191	ハロー	263	ティンクルベル	334	フォーンコール
192	シュラウド	264	アゴゴ	335	雨
193	メロー	265	ウッドブロック	336	雷
194	ビッグリード	266	カスターネット	337	風
195	シーケンスアナログ	267	メロディックタム1	338	せせらぎ
196	ピュアリード	268	メロディックタム2	339	海辺
197	ディストーションリード	269	リアルタム	340	泡
198	ビッグファイブ	270	ロックタム	341	フィード
199	ビッグ&ロー	271	エレクトロニックパーカッション	342	犬
200	ファット&パーキー	272	アナログタム	343	馬
	シンセパッド&エフェクト	273	シンセドラム	344	マオウ
201	ニューエイジパッド	274	和太鼓	345	ドアのきしみ
202	ファンタジー	275	グランカッサ	346	ドアを開める
203	ウォームパッド	276	ガムリンバ	347	スクラッチカット
204	ポリシンセパッド	277	グラスパーカッション	348	スクラッチスプリット
205	クワイアパッド	278	リバーシシバル	349	ウィンドチャイム
206	ボウドパッド		ワールド	350	イグニッション
207	メタリックパッド	279	バンジョー	351	タイヤ
208	ハローパッド	280	ミュートバンジョー	352	レーシングカー
209	スリープパッド	281	フィドル	353	衝突
210	ソフトホワール	282	バグパイプ	354	サイレン
211	アイトピア	283	ダルシマー 1	355	列車
212	レイン	284	ダルシマー 2	356	ヘリコプター
213	サウンドトラック	285	ツィンパロン	357	ジェット機
214	クリスタル	286	サントゥール	358	スターシップ
215	アトモスフィア	287	カヌーン	359	パースト
216	ブライトネス	288	ウード	360	ローラーコースター
217	ゴブリン	289	ラバーブ	361	サブマリン
218	エコー	290	カリンバ	362	笑い声
219	サイエンスフィクション	291	シタール1	363	悲鳴
220	アフリカンウィンド	292	シタール2	364	パンチ
221	カリブ	293	デチューンドシタール	365	心音
222	ブローグ	294	タンブーラ	366	足音
223	シンセドラムコンプ	295	シャナイ	367	拍手
224	ポップコーン	296	ゴピチャント	368	銃声
225	タイニーベル	297	三味線	369	マシンガン
226	ラウンドグロックンシュピール	298	琴	370	レーザーガン
227	グロックンシュピールチャイム	299	大正琴	371	爆発
228	クリアベル	300	ヤンチン	372	花火
229	コーラスベル	301	マンドリン		ドラムキット
230	ソフトクリスタル	302	ウクレレ	373	スタンダードキット1
231	エアベル	303	ボナン	374	スタンダードキット2
232	ウォームアトモスフィア	304	アルマイル	375	ルームキット
233	ハローリリース	305	ガムラン	376	ロックキット
234	ナイロンエレクトリックピアノ	306	ステレオガムラン	377	エレクトロニックキット
235	ナイロンハーブ	307	ラマシシバル	378	アナログキット
236	ハーブボックス	308	タイベル	379	ダンスキット
237	アトモスフィアパッド		デュアル*	380	ジャズキット
238	ゴブリンシンセ	309	オクターブピアノ	381	ブラッシュキット
239	クリーパー	310	ピアノ&ピチカートストリングス	382	シンフォニーキット
240	リチュアル	311	ピアノ&フルート	383	SFXキット1
241	トゥーヘブン	312	ピアノパッド	384	SFXキット2
242	ナイト	313	オクターブホンキートンク	385	サウンドエフェクトキット
243	グリسن	314	ハーブシコード&ストリングス		

* このカテゴリーの音色を選ぶと、2つの音色が重なった音になります。

ドラムキットリスト

※ “ ” は「スタンダードキット1」と同じ内容であることを表します。

※各パーカッション音の使用発音数は1です。

楽器番号		373	374	375	376	377	378	379
Keyboard		スタンダードキット1	スタンダードキット2	ルームキット	ロックキット	エレクトロニックキット	アナログキット	ダンスキット
Note No.	Note							
	25	C# 0	スルドミュート					
	26	D 0	スルドオープン					
	27	D# 0	ハイQ					
	28	E 0	ウィップスラップ					
	29	F 0	スクラッチブッシュ					
	30	F# 0	スクラッチブル					
	31	G 0	フィンガースナップ					
	32	G# 0	クリックノイズ					
	33	A 0	メトロノームクリック					
	34	A# 0	メトロノームベル					
	35	B 0	シーククリックL					
	36	C 1	シーククリックH					
	37	C# 1	ブラッシュタップ					
	38	D 1	ブラッシュスワール					
	39	D# 1	ブラッシュスラップ					
	40	E 1	ブラッシュタップスワール			リバースシンバル	リバースシンバル	リバースシンバル
	41	F 1	スネアロール					
	42	F# 1	カスネット			ハイQ2	ハイQ2	ハイQ2
	43	G 1	スネアソフト	スネアソフト2	スネアロックH	スネアL	スネアロックH	アナログスネアスナッピー
	44	G# 1	スティックス					
	45	A 1	バスドラムソフト			バスドラムH	バスドラムH	アナログバスドラムダンス1
	46	A# 1	オープンリムショット	オープンリムショット2				アナログスネアオープンリム
	47	B 1	バスドラムハード		バスドラムH	バスドラムロック	バスドラムアナログL	アナログバスドラムダンス2
	48	C 2	バスドラム	バスドラム2	バスドラムロック	バスドラムゲート	バスドラムアナログH	アナログバスドラムダンス3
	49	C# 2	サイドスティック				アナログサイドスティック	アナログサイドスティック
	50	D 2	スネア	スネア2	スネアルームL	スネアロックL	スネアロックL	アナログスネアキュー
	51	D# 2	ハンドクラップ					
	52	E 2	スネアタイト	スネアタイト2	スネアルームH	スネアロックリム	スネアロックH	スネアアナログキアコースティック
	53	F 2	フロアタムL	ルームタム1	ルームタム1	ロックタム1	エレクトロニックタム1	アナログタム1
	54	F# 2	ハイハットクローズ				アナログハイハットクローズ1	アナログハイハットクローズ3
	55	G 2	フロアタムH	ルームタム2	ルームタム2	ロックタム2	エレクトロニックタム2	アナログタム2
	56	G# 2	ハイハットベダル				アナログハイハットクローズ2	アナログハイハットクローズ4
	57	A 2	ロータム	ルームタム3	ルームタム3	ロックタム3	エレクトロニックタム3	アナログタム3
	58	A# 2	ハイハットオープン				アナログハイハットオープン	アナログハイハットオープン2
	59	B 2	ミッドタムL	ルームタム4	ルームタム4	ロックタム4	エレクトロニックタム4	アナログタム4
	60	C 3	ミッドタムH	ルームタム5	ルームタム5	ロックタム5	エレクトロニックタム5	アナログタム5
	61	C# 3	クラッシュシンバル1				アナログシンバル	アナログシンバル
	62	D 3	ハイタム	ルームタム6	ルームタム6	ロックタム6	エレクトロニックタム6	アナログタム6
	63	D# 3	ライドシンバル1					
	64	E 3	チャイニーズシンバル					
	65	F 3	ライドシンバルカップ					
	66	F# 3	タンバリン					
	67	G 3	スブラッシュシンバル					
	68	G# 3	カウベル				アナログカウベル	アナログカウベル
	69	A 3	クラッシュシンバル2					
	70	A# 3	ビブラスラップ					
	71	B 3	ライドシンバル2					
	72	C 4	ボンゴH					
	73	C# 4	ボンゴL					
	74	D 4	コンガHミュート				アナログコンガH	アナログコンガH
	75	D# 4	コンガHオープン				アナログコンガM	アナログコンガM
	76	E 4	コンガL				アナログコンガL	アナログコンガL
	77	F 4	ティンパレスH					
	78	F# 4	ティンパレスL					
	79	G 4	アゴゴH					
	80	G# 4	アゴゴL					
	81	A 4	カバサ					
	82	A# 4	マラカス				アナログマラカス	アナログマラカス
	83	B 4	サンパホイッスルH					
	84	C 5	サンパホイッスルL					
	85	C# 5	ギロショート					
	86	D 5	ギロロング					
	87	D# 5	クラベス				アナログクラベス	アナログクラベス
	88	E 5	ウッドブロックH					
	89	F 5	ウッドブロックL					
	90	F# 5	クワイカムミュート				スクラッチブッシュ	スクラッチブッシュ
	91	G 5	クワイカオープン				スクラッチブル	スクラッチブル
	92	G# 5	トライアングルミュート					
	93	A 5	トライアングルオープン					
	94	A# 5	シェイカー					
	95	B 5	ジングルベル					
	96	C 6	ベルツリー					
	97	C# 6						
	98	D 6						
	99	D# 6						
	100	E 6						
	101	F 6						
	102	F# 6						
	103	G 6						

* SFXキット1と2について、実際の鍵盤位置は下記リストに掲載されているノートナンバー (Keyboard Note) より1オクターブ下です。

	380	381	382	383	384	385
	ジャズキット	ブラッシュキット	シンフォニーキット	SFX キット1 *	SFX キット2 *	サウンドエフェクトキット
C1						
C#1						
D1						
D#1						
E1						
F1						
F#1						
G1	スネアジャズHライト	ブラッシュスラップL				ドラムループ
G#1						
A1			バスドラムL			
A#1						
B1			グランカッサ			
C2	バスドラムジャズ	バスドラムジャズ	グランカッサミュート	カッティングノイズ1	フーンコール	心音
C#2				カッティングノイズ2	ドアのきしみ	足音
D2	スネアジャズL	ブラッシュスラップ	マーチングスネアM		ドアを開める	ドアのきしみ
D#2				ストリングススラップ	スクラッチカット	ドアを閉める
E2	スネアジャズM	ブラッシュタップ	マーチングスネアH		スクラッチ	拍手
F2	ジャズタム1	ブラッシュタム1	ジャズタム1		ウィンドチャイム	カメラ
F#2					電話2	クラクション
G2	ジャズタム2	ブラッシュタム2	ジャズタム2			しゃっくり
G#2						はと時計
A2	ジャズタム3	ブラッシュタム3	ジャズタム3			せせらぎ
A#2						かえる
B2	ジャズタム4	ブラッシュタム4	ジャズタム4			雄鶏
C3	ジャズタム5	ブラッシュタム5	ジャズタム5			犬
C#3			ハンドシンバルL			猫
D3	ジャズタム6	ブラッシュタム6	ジャズタム6			ぶくろう
D#3			ハンドシンバルショートL			馬の駆け足
E3				フルートキークリック	イグニッション	馬のいななき
F3					タイヤ	牛
F#3					レーシングカー	ライオン
G3					衝突	スクラッチ
G#3					サイレン	Yo!
A3			ハンドシンバルH		列車	Go!
A#3					ジェット機	Get up!
B3			ハンドシンバルショートH		スターシップ	Whoow!
C4					バースト	
C#4					ローラーコースター	
D4					サブマリン	
D#4						
E4						
F4						Huuuah!
F#4						
G4						
G#4						
A4				雨	笑い声	
A#4				雷	悲鳴	
B4				風	パンチ	
C5				せせらぎ	心音	
C#5				泡	足音	
D5				フィード		
D#5						
E5						
F5						
F#5						
G5						Uh! + Hit
G#5						
A5						
A#5						
B5						
C6				犬	マシンガン	
				馬	レーザーガン	
				鳥のさえずり 2	爆発	
					花火	
				マオウ		

ソングリスト

番号	ソング名
おすすめ	
1	デモ1
2	デモ2
3	デモ3
オーケストラ	
4	箏笛の踊り(くるみ割り人形より) (P.I. Tchaikovsky)
5	「天国と地獄」序曲 (J. Offenbach)
6	スラヴ舞曲第10番 (A. Dvořák)
7	タイスの瞑想曲 (J. Massenet)
8	春の歌 (F. Mendelssohn)
ピアニスト	
9	ブルグミュラー：25の練習曲から 1番 すなおな心 (J.F.Burgmüller)
10	2番 アラベスク (J.F.Burgmüller)
11	3番 牧歌 (J.F.Burgmüller)
12	4番 こどもの集会 (J.F.Burgmüller)
13	5番 無邪気 (J.F.Burgmüller)
14	6番 進歩 (J.F.Burgmüller)
15	モーツァルトのトルコ行進曲 (W.A. Mozart)
16	小犬のワルツ (F. Chopin)
17	ポッケリーニのメヌエット (L. Boccherini)
18	楽興の時 第3番 (F. Schubert)
19	エンターテイナー (S. Joplin)
20	平均律第1巻第1番 プレリュード (J.S. Bach)
21	すみれ (Streabbog)
22	エリーゼのために (L.v. Beethoven)
デュエット	
23	こげこげボート (Traditional)
24	オン・トップ・オブ・オールド・スモーカー (Traditional)
25	おめでとうクリスマス (Traditional)
26	スカボロ・フェア (Traditional)
27	ちょうちょ (Traditional)
28	もみの木 (Traditional)
29	メリーさんのひつじ (Traditional)
30	10人のインディアン (Traditional)
31	ポップ・ゴーズ・ザ・ウィズル (Traditional)
32	きらきら星 (Traditional)
33	むすんでひらいて (J.J. Rousseau)
34	かっこう (Traditional)
35	かわいいオーガスティン (Traditional)
36	ロンドン橋 (Traditional)
練習曲	
37	アメリカ・ザ・ビューティフル (S.A. Ward)
38	ロンドンデリーの歌 (Traditional)
39	バンジョーをかき鳴らせ (S.C. Foster)
40	小鳥ならば (Traditional)
41	ローレライ (F. Silcher)
42	わらの中の七面鳥 (Traditional)
43	ジングル・ベル (J.S. Pierpont)
44	別れ (F. Silcher)
45	愛の夢 第3番 (F. Liszt)
46	主よ、人の望みの喜びよ (J.S. Bach)
47	歓喜の歌 (L.v. Beethoven)
48	真珠採りの歌 (G. Bizet)
49	ハイドンのセレナーデ (F.J. Haydn)
50	パッハのメヌエット (C. Petzold (J.S. Bach))

番号	ソング名
51	パッヘルベルのカノン (J. Pachelbel)
52	歌劇「魔笛」より (W.A Mozart)
53	月光の曲 (L.v. Beethoven)
54	びっくりシンフォニー (F.J. Haydn)
55	野ばらに寄す (E.A. MacDowell)
56	闘牛士の歌 (G. Bizet)
57	私のお父さん (G. Puccini)
スタイルのパレット	
58	ビル・ベイリ(帰っておいでよ) (H. Cannon)
59	アイルランド人のほほ笑みは (E.R. Ball)
60	ダウン・パイ・ザ・リバーサイド (Traditional)
61	聖者の行進 (Traditional)
62	円舞曲「春の声」 (J. Strauss II)
63	草競馬 (S.C. Foster)
64	茶色の小瓶 (Joseph Winner)
65	ロッホ・ローモンド (Traditional)
66	おお、スザンナ (S.C. Foster)
67	グリーンズリーブス (Traditional)
68	オーラ・リー (Traditional)
69	きよこの夜 (F. Gruber)
70	ドナウ川のさざ波 (I. Ivanovici)
71	きらきら星 (Traditional)
72	むすんでひらいて (J.J. Rousseau)
73	かっこう (Traditional)
74	かわいいオーガスティン (Traditional)
75	ロンドン橋 (Traditional)
76	アメリカンパトロール (F.W. Meacham)
77	夢見る君 (S.C. Foster)
78	リパブリック讃歌 (Traditional)
79	植生の宿 (H. Bishop)
80	花のワルツ(くるみ割り人形より) (P.I. Tchaikovsky)
81	アロハ・オエ (Q. Liliuokalani)
82	線路は続くよどこまでも (Traditional)
83	愛しのフレメンタイン (Traditional)
84	蛍の光 (Traditional)
85	大きな古時計 (H.C. Work)
86	アメージング・グレース (Traditional)
87	マイ・ボニー (H.J Fulmer)
88	アルプス一万尺 (Traditional)
89	もろびとこぞりて (G.F. Händel)
90	シューベルトのアベマリア (F.Schubert)

番号	特別付録
コードスタディ	
91~102	ChdStd01~ChdStd12

- これら内蔵ソングの譜面がソングブックに入っています。ただし3曲(ソング番号001~003)は除きます。
- 内蔵ソングのうち、一部のソングは、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

スタイルリスト

スタイル番号	スタイル名
8ビート	
001	8ビートモダン
002	60sギターポップ
003	8ビートアドリア
004	60s8ビート
005	8ビート
006	オフビート
007	60sロック
008	ハードロック
009	ロックシャッフル
010	8ビートロック
16ビート	
011	16ビート
012	ポップシャッフル
013	ギターポップ
014	16ビートアップテンポ
015	クールシャッフル
016	ヒップホップライト
バラード	
017	ピアノバラード
018	ラブソング
019	6/8モダンエレピ
020	6/8スローロック
021	オルガンバラード
022	ポップバラード
023	16ビートバラード
ダンス	
024	ユーロトランス
025	イビサ
026	スイングハウス
027	クラブダンス
028	クラブラテン
029	ガラージ1
030	ガラージ2
031	テクノパーティー
032	UKポップ
033	ヒップホップグループ
034	ヒップシャッフル
035	ヒップホップポップ
ディスコ	
036	70sディスコ
037	ラテンディスコ
038	サタデーナイト

スタイル番号	スタイル名
039	ディスコハンズ
スイング&ジャズ	
040	ビッグバンドファスト
041	ビッグバンドバラード
042	ジャズクラブ
043	スイング1
044	スイング2
045	5ビート
046	ディキシーランド
047	ラグタイム
リズム&ブルース	
048	ソウル
049	デトロイトポップ
050	6/8ソウル
051	クロコツイスト
052	ロックンロール
053	コンボブギー
054	6/8ブルース
カントリー	
055	カントリーポップ
056	カントリースイング
057	カントリー 2/4
058	ブルーグラス
ラテン	
059	ブラジリアンサンバ
060	ボサノバ
061	フォホ
062	ティファナ
063	マンボ
064	サルサ
065	ビギン
066	レゲエ
ボールルーム	
067	ウィンナーワルツ
068	イングリッシュワルツ
069	スローフォックス
070	フォックストロット
071	クイックステップ
072	タンゴ
073	パソドブレ
074	サンバ
075	チャチャチャ
076	ルンバ

スタイル番号	スタイル名
077	ジャイブ
トラッド&ワールド	
078	USマーチ
079	6/8マーチ
080	ジャーマンマーチ
081	ポルカポップ
082	ポルカオーバークライナー
083	タランテラ
084	ショーチューン
085	クリスマススイング
086	クリスマスワルツ
087	スコティッシュリール
ワルツ	
088	スイングワルツ
089	ジャズワルツ
090	カントリーワルツ
091	ワルツオーバークライナー
092	ミュゼット
ピアニスト	
093	ストライド
094	ピアノスイング
095	アルペジオ
096	ハバネラ
097	スローロック
098	8ビートピアノバラード
099	6/8ピアノマーチ
100	ピアノワルツ

エフェクトタイプリスト

[リバーブタイプリスト]

番号	タイプ	解説
01	Hall 1 (ホール1)	ホールで弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
02	Hall 2 (ホール2)	
03	Hall 3 (ホール3)	
04	Room 1 (ルーム1)	部屋で弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
05	Room 2 (ルーム2)	
06	Stage 1 (ステージ1)	ソロ楽器に適したリバーブです。
07	Stage 2 (ステージ2)	
08	Plate 1 (プレート1)	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
09	Plate 2 (プレート2)	
10	Off (オフ)	リバーブエフェクトはかかりません。

[コーラスタイプリスト]

番号	タイプ	解説
01	Chorus 1 (コーラス1)	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
02	Chorus 2 (コーラス2)	
03	Chorus 3 (コーラス3)	
04	Flanger 1 (フランジャー 1)	ジェットサウンドを作り出す効果です。
05	Flanger 2 (フランジャー 2)	
06	Off (オフ)	コーラスエフェクトはかかりません。

仕様

サイズ/質量	寸法	幅×奥行き×高さ	940mm×317mm×106mm	
	質量		4.0kg (電池含まず)	
鍵盤	鍵盤数		61	
ディスプレイ	タイプ		液晶	
	言語		英語	
パネル	言語		日本語	
音源/音色	音源	音源方式	AWMステレオサンプリング	
	発音数	最大同時発音数	32	
	プリセット	音色数	372音色+13ドラム/SFXキット	
効果	タイプ	リバーブ	9種類	
		コーラス	5種類	
		ウルトラワイドステレオ	3種類	
		マスターEQ	6種類	
ファンクション	パネルサステイン		○	
伴奏スタイル	プリセット	プリセットスタイル数	100	
		フィンガリング	マルチフィンガリング	
		スタイルコントロール	スタイルオン/オフ、シンクロスタート、スタート/ストップ、イントロ/エンディング/rit、メイン/フィルイン	
	その他特長	ワンタッチセッティング		○
ソング	プリセット	内蔵曲数	102 (コードスタディー 12含む)	
録音	録音曲数		1	
	録音トラック数		1	
	データ容量		約300音符	
	録音フォーマット		オリジナルフォーマット	
ファンクション	レッスン		[1 お手本]、[2 タイミング]、[3 マイペース]、[A-Bリピート]、[コード辞書]	
	全体設定	メトロノーム		○
		テンポ		11~280
		トランスポーズ		-12~0~+12
		チューニング		427.0~440.0~453.0Hz(約0.2Hz単位)
		デュオ		○
その他	ピアノボタン		○	
接続端子			DC IN 12V、ヘッドフォン/外部出力(ステレオ標準)、サステイン、外部入力(ステレオミニ)	
アンプ/スピーカー	アンプ出力		2.5W+2.5W	
	スピーカー		12cm×2	
電源部	電源		電源アダプター：PA-3C(またはヤマハ推奨の同等品) 電池(別売)：単3(1.5V)アルカリ乾電池/マンガン乾電池×6本 または単3(1.2V)ニッケル水素電池(充電式)×6本	
	消費電力		8W(PA-3C使用時)	
	電池寿命		アルカリ乾電池で約17時間	
	オートパワーオフ機能		○	
付属品			取扱説明書(本書)、電源アダプター (PA-3Cまたはヤマハ推奨の同等品)、ソングブック、保証書、譜面立て、ユーザー登録のご案内	
別売品			ソフトケース(SCC-51/SCC-52)、キーボードスタンド(L-2L/L-2C)、ヘッドフォン(HPE-150/HPE-30)、フットスイッチ(FC4A/FC5)	

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。取扱説明書の最新版につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

索引

A	
A-Bリピート	24
B	
BGM	23
E	
EQタイプ	14
R	
rit.	19
イ	
一時停止	24
移調→トランスポーズ	29, 30
イントロ	19
ウ	
ウルトラワイドステレオ	17
エ	
エフェクト	17, 31
エフェクトタイプリスト	40
エンディング	19
オ	
オートパワーオフ	14, 31
お手本	27
音符表示	15
音量	30
カ	
楽器音(ボイス)	16
楽器リスト	34
画面表示	15
乾電池→電池	12
キ	
機能設定	30
機能リスト	30
ク	
グランドピアノ	16
くり返し再生	24
ケ	
鍵盤表示	15
コ	
コード	15
コード辞書	21
コードスタディ	26
コードタイプ	20
コーラス	17, 31
コーラスタイプリスト	40
効果音	16
困ったときは	33
サ	
採点	27
サステイン	17, 22
シ	
自動伴奏	18
自動伴奏鍵域	18
仕様	41
小節	15
初期化	32
シンクロスタート	18
ス	
スタイル	18
スタイルオン/オフ	18
スタイル音量	18, 30

スタイルリスト	39
スプリットポイント	30
セ	
セクション	19
全体音量	13
ソ	
ソング	23
ソング音量	30
ソングブック	2
ソングリスト	38
タ	
タイミング	27
タップ	19
チ	
チューニング	30
テ	
デモ	23
デモキャンセル	31
デモグループ	31
デュオ	22
電源	12
電源アダプター	12
電池	12
テンポ	17, 19
ト	
ドラムキットリスト	36
トランスポーズ	29, 30
ハ	
パート	25
バックアップ	32
バックアップクリア	32
バックアップデータ	32
バッテリー選択	31
パネルサステイン	17, 22, 31
早送り	24
早戻し	24
ヒ	
ビート	15
拍子	17, 31
フ	
フィルイン	19
フットスイッチ	13
譜面立て	2, 13
フレーズ録音	29
プレイモード	31
ヘ	
ヘッドフォン	13
ホ	
ボイス	16, 30
マ	
マイペース	27
マスターEQ	14
マスターEQタイプ	31
メ	
メイン	19
メトロノーム	17
メトロノーム音量	17, 31
ユ	
ユアテンポ	31

ラ	
ランダム	23
リ	
リズム	18
リバーブ	17, 31
リバーブタイプリスト	40
レ	
レッスン	27
ワ	
ワイドタイプ	31
ワンタッチセッティング	16

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間或使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。

有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

◆修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-012-808

※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830 へおかけください。

受付時間

月曜日～金曜日 10:00～17:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAX

東日本 (北海道/東北/関東/甲信越/東海) 03-5762-2125

西日本 (沖縄/九州/中国/四国/近畿/北陸) 06-6465-0367

有寿命部品の例

ボリュウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、
接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

●持込み修理のお願い

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りの修理品お持ち込み窓口へ本機をご持参ください。

●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆修理品お持ち込み窓口

受付時間

月曜日～金曜日 10:00～17:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F FAX 03-5762-2125
西日本サービスセンター 〒554-0024 大阪市此花区島屋6丁目2-82 ユニバーサル・シティ和幸ビル9F FAX 06-6465-0374

※都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

ヤマハ株式会社

キーボードの仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

ご購入の特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-006-808

※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。

通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-5272へおかけください。

営業時間：月曜日～金曜日 10:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

<http://jp.yamaha.com/support/>

ウェブサイトのご案内

ヤマハ株式会社のホームページ

<http://jp.yamaha.com/>

ヤマハ ピアノ・鍵盤楽器サイト

<http://jp.yamaha.com/kbd/>

ヤマハ ダウンロード

<http://download.yamaha.com/jp/>

ヤマハ 音楽データショップ

<http://www.music-eclub.com/musicdata/>

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

●都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などに変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。



ZN45680

Manual Development Department
© 2015 Yamaha Corporation

2015年2月 発行 POHD-A0
Printed in China

ZN45680